

報 告

生態写真に基づく相模湾北西部沿岸域の魚類相

深谷真央

Mahiro Fukatani: Ichthyofauna in the northwestern coast of Sagami Bay, central Japan, based on the underwater photographs

Abstract. Underwater photographs of fishes taken on the coast of Nebukawa, northwest of Sagami Bay, the Pacific coasts of southern Japan, were identified and listed. We distinguished 11 orders, 51 families, and 128 species, including several tropical fishes: *Anampses caeruleopunctatus* Rüppell, 1829, *Bodianus axillaris* (Bennett, 1832), and *Bodianus dictynna* Gomon, 2006 (Labridae); *Ctenochaetus binotatus* Randall, 1955 and *Zebrosoma flavescens* (Bennett, 1828) (Acanthuridae). Though the ichthyofauna is now mainly comprised of temperate species, the increasing trend of settling tropical fishes transported by Kuroshio Current is required to be monitored. Moreover, the individuals of *B. dictynna*, *Fusigobius duospilus* Hoese & Reader, 1985 (Gobiidae), and *Asterorhombus intermedius* (Bleeker, 1865) (Bothidae), photographed at Nebukawa, were northernmost records for these species.

緒 言

相模湾は南日本太平洋沿岸域の最北部に位置し(中坊, 2015), 生物地理学的には暖温帯区に区分される(西村, 1981)。相模湾沿岸域の魚類相については, 伊豆半島東岸, 三浦半島, および千葉県館山市において精力的に調査が行われてきた(林ほか, 1992; 下光ほか, 2019; 工藤ほか, 2022 など)が, 三浦半島を除く神奈川県相模湾沿岸各地における魚類相研究の例は少ない。小田原市を含む西湘地域は, 伊豆半島東岸の熱海・富戸や館山市波左間に比べて黒潮由来の沖合水による影響が小さく, 成立する沿岸魚類相も大きく異なることが竹内ほか(2012)によって示唆されている。このため, 相模湾の包括的な魚類相の把握に際しては, 西湘・湘南地域における魚類相の情報の充実が重要であると考えられる。筆者らはこの観点から, 相模湾北西部に位置する小田原市根府川において, スキューバダイビングを活用した魚類相のモニタリングを行っている。本稿では, 約1年間の調査を通して得られた水中写真をもとに, 根府川沿岸域における魚類相を目録の形で報告する。

材料と方法

2021年7月から2022年9月にかけて, 計12回の調査を行った。各回の調査は5人前後で行われ, 調査努力

量については約50分のスキューバダイビングを午前・午後に各1本と設定した。安全上の配慮から, 2人1組のバディのうち片方のみが撮影機材を携帯し, 潜水中に静止画や動画を撮影した。ただし動画については魚が映り込んでいる場面を静止画として切り取り, ほかの静止画と同様に画像資料として扱った。必要に応じて魚類採集を行い, 観察ケースに入れた状態で写真を撮影したが, 撮影後は魚を採集地点に放流した。このため, 本調査では魚類標本を得ていない。

調査区の概要を図1[国土地理院(online)を加工して作成]に示す。調査区は根府川の沖合約1km以内の範囲に設定され, その大部分は水深15m以内である。岸から50–150mほど沖合には消波ブロックが多数設置されており, この地帯を抜けると粒子の粗い砂地が広がる。この砂地には岩の積まれた礁がいくつか存在しており, それぞれ名前がつけられている(図1参照)。砂地の南北には転石帯が広がり, 北側の砂地には関東大震災で崩落した旧根府川駅ホームの残骸が存在する(図中には示していない)。転石帯にはサンゴモ類が多く生育し, また水温の低い時季には岸近くの消波ブロック帯の内側にカジメ場が形成される。

得られた水中写真は, 神奈川県立生命の星・地球博物館の魚類写真資料(KPM-NR)として登録した。本調査とは独立して根府川で撮影された写真も新たに登録し, 根府川で撮影され, すでにKPM-NRに登録されている

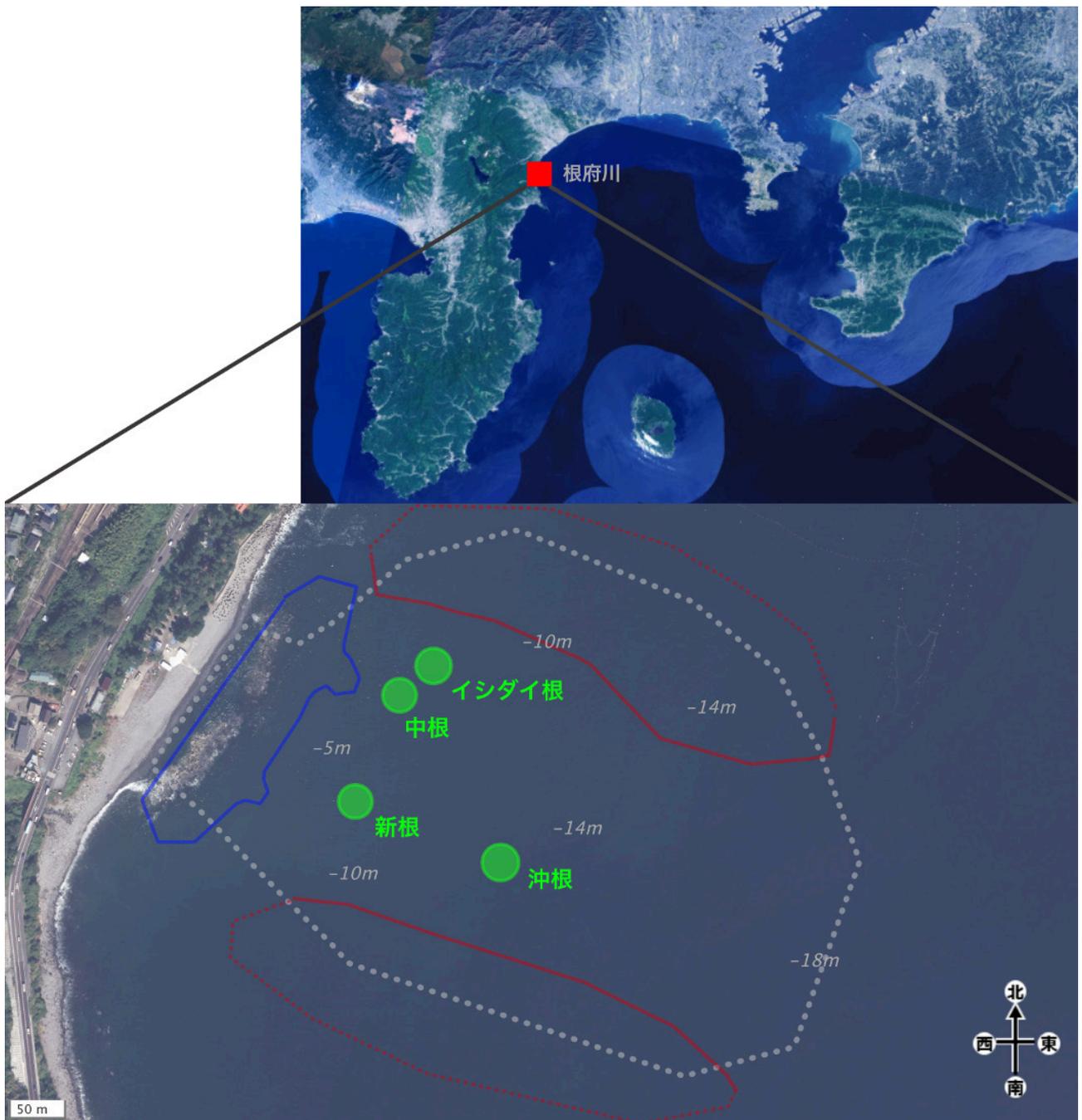


図1. 調査区の地図. 地理院地図（電子国土 Web）の空中写真を加工して作成. 灰色の点線で囲まれた部分は調査を行った範囲, 青色の線で囲まれた部分は消波ブロックが設置された地帯, 赤色の実線で囲まれた部分は転石帯（調査区外は不明のため点線で示した）を示す. 調査区内には大きな岩が積まれた礁が点在しており, そのうち大規模なものを緑色の丸で, 礁の名前とあわせて示した.

写真とあわせて活用した。なお、すでに登録されている根府川の生態写真は、いずれも1999年8月に撮影されたものである。当時からは20年以上が経過しているため、これらの写真から得られる情報が現在の魚類相を反映しているかは不明であるが、本調査期間内に確認されていない種であっても目録中に含めた。これらの写真は、本調査で撮影された写真とは別に掲載した（図17）。KPM-NRの資料番号は電子台帳上、頭にゼロを付した7桁の数字として管理されているが、ここでは頭のゼロを省略した数字で表した。基本的に同定は中坊（2013a）に、分布はSenou *et al.* (2006)、および中坊（2013a）に従ったが、

必要に応じてその他の文献も参照し、文献情報を目録中の各種の備考欄に記した。ただし、分布の記載は、相模湾からの報告例が少ない種など、とくに記載が必要と考えられるもののみにとどめた。目録中の目の配列および標準和名は中坊（2013a）に従い、科以下のタクソンの標準和名、学名、命名者、記載年、および配列は本村（2022）に従った。本稿における相模湾の定義についてはSenou *et al.* (2006)に従い、石廊崎（伊豆半島）－伊豆大島南端－野島崎（房総半島）を結んだ線以北の海域のうち、観音崎（三浦半島）－富津岬（内房）を結んだ線以北の海域（東京湾）を除いた部分とした。

結果と考察

本研究により、根府川沿岸域から11目51科128種(未同定4種を含む)の魚類の出現が確認された。また、1999年8月に根府川で撮影された魚種のうち、本調査期間中に確認されなかった種は7種(コチ科の1種;ハオコゼ;キヌカジカ;ヤナギアナハゼ;クロエリギンポ;チャガラ;アミメハギ)であった。これらの種は出現が最後に確認されてから長い時間が経過しており、現在の魚類相を反映した結果とはいえない可能性がある。このため、現在も根府川周辺海域が生息場所となっているかどうか、今後の調査において引き続きモニタリングすることが望まれる。

確認された種の大部分は温帯域に分布の中心をもつ温帯種であると考えられる。分布の中心が熱帯・亜熱帯域であると考えられる種としては、ベラ科のブチススキベラ、スミツキベラ、モンツキベラ、ニザダイ科のコクテンサザナミハギ、キイロハギがあげられる(中坊, 2013b)。これらの種の相模湾における記録は限定的であり(中村, 1970; 林ほか, 1992; 萩原・木村, 2005; Senou *et al.*, 2006) 相模湾で出現するこれらの種の個体は黒潮による無効分散個体の可能性が高いと考えられる。一方、近年の海水温上昇に伴い、相模湾を含む黒潮沿岸海域において再生産を行う熱帯性魚類が増加する可能性が示唆されている(山川ほか, 2018)。今回確認された熱帯・亜熱帯性魚類についても、今後の出現増加や越冬に関する動向に注意する必要がある。

以下に出現が確認された魚種の目録を示す。資料番号、撮影水深、撮影日時、撮影者をこの順に記述し、必要に応じて同定、分布、出現状況などに関する説明を備考欄に付した。なお撮影者が著者の場合、苗字のみを記した。

Order Carcharhiniformes メジロザメ目

Family Triakidae ドチザメ科

Triakis scyllium Müller & Henle, 1839

ドチザメ

(図 2A)

KPM-NR 236258, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。当該個体は調査区内北側の転石帯において、大きな岩の下に 3 匹ほど集まって静止しているところを撮影された。

備考: 本種は根府川において、毎年冬季になると水深 5 m 前後の浅場に出現する(高橋監二氏, 私信)。

Order Anguilliformes ウナギ目

Family Muraenidae ウツボ科

Enchelycore pardalis (Temminck & Schlegel, 1846)

トラウツボ

(図 2B)

KPM-NR 236259, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

Gymnothorax kidako (Temminck & Schlegel, 1846)

ウツボ

(図 2C)

KPM-NR 236260, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

Family Congridae アナゴ科

Ariosoma sp. ゴテンアナゴ属の 1 種

(図 2D)

KPM-NR 31684, 水深 10 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影; KPM-NR 236355, 水深 10 m, 2021 年 9 月 15 日, 内田大賀氏撮影。当該個体は粒子の粗い砂底に穴を掘り、頭部を出しているところを撮影された。

備考: 上記 2 資料はともに、頭部の色彩からオオシロアナゴ *A. major* (Asano, 1958) あるいはハナアナゴ *A. anago* (Temminck & Schlegel, 1846) であると考えられたが、両者の識別点の一つである垂直鰭縁辺の黒色縁は上記 2 資料からは確認不能であり、また色彩によっては両者を区別できない可能性も指摘されている(波戸岡, 2013)。よって、ここでは属までの同定にとどめた。

Order Clupeiformes ニシン目

Family Clupeidae ニシン科

Sardinops melanostictus (Temminck & Schlegel, 1846)

マイワシ

(図 2E)

KPM-NR 236270, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。当該個体はタカベ *Labracoglossa argentiventris* の群れに混じって遊泳しているところを撮影された。

Family Spratelloididae キビナゴ科

Spratelloides gracilis (Temminck & Schlegel, 1846)

キビナゴ

(図 2F)

KPM-NR 236295, 水深 1 m, 2022 年 3 月 16 日, 深谷撮影。

備考: 本種は調査区の全域で周年観察される。

Family Engraulidae カタクチイワシ科

Engraulis japonica Temminck & Schlegel, 1846

カタクチイワシ

(図 2G)

KPM-NR 236271, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。当該個体はタカベ *Labracoglossa argentiventris* の群れに混じって遊泳しているところを撮影された。

Order Siluriformes ナマズ目

Family Plotosidae ゴンズイ科

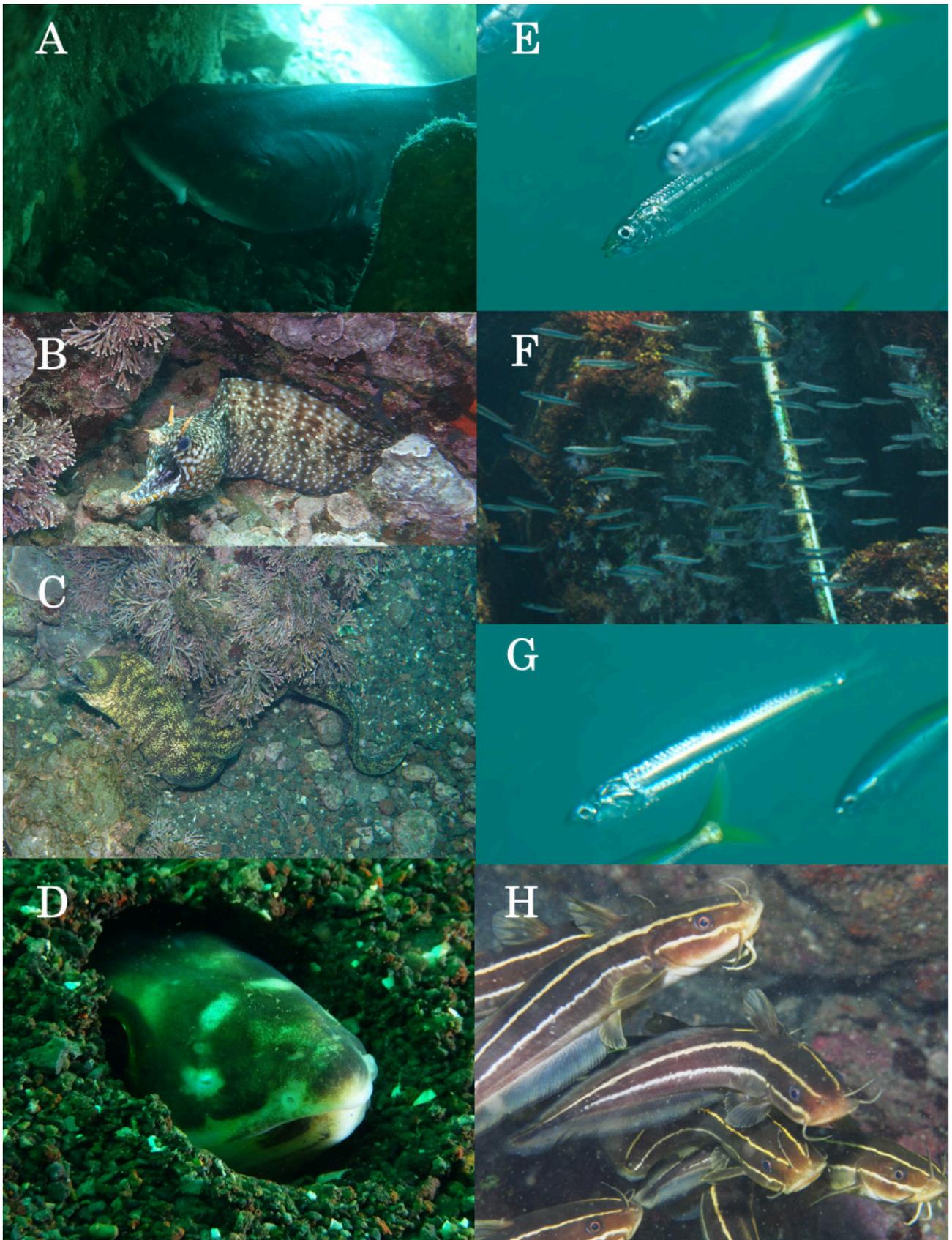


図2. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: ドチサメ *Triakis scyllium*, KPM-NR 236258A; B: トラウツボ *Enchelycore pardalis*, KPM-NR 236259A; C: ウツボ *Gymnothorax kidako*, KPM-NR 236260A; D: ゴテンアナゴ属の1種 *Ariosoma* sp., KPM-NR 236355A; E: マイワシ *Sardinops melanostictus*, KPM-NR 236270A; F: キビナゴ *Spratelloides gracilis*, KPM-NR 236295A; G: カタクチイワシ *Engraulis japonica*, KPM-NR 236271A; H: ゴンズイ *Plotosus japonicus*, KPM-NR 236248A.

***Plotosus japonicus* Yoshino & Kishimoto, 2008**

ゴンズイ
(図 2H)

KPM-NR 33194, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33231, 水深 7–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 村松 繁氏撮影; KPM-NR 236248, 水深 8 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影。

Order Aulopiformes ヒメ目
Family Synodontidae エソ科
***Synodus hoshinonis* Tanaka, 1917**

ホシノエソ
(図 3A, B)

KPM-NR 236284, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影;
KPM-NR 236307, 水深 10 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

備考: KPM-NR 236307 は本種の特徴である鰓蓋上部の黒斑 (山田・柳下, 2013) が不明瞭であるが, その他の色彩が本種に一致していることを踏まえ, ここでは本種に同定された。

***Synodus jaculum* Russell & Cressey, 1979**

オグロエソ
(図 3C)

KPM-NR 236301, 水深 12 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。
当該個体は北側の転石帯付近の砂地で観察された。

備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236301 が撮影された一度のみ確認された。

***Synodus ulae* Schultz, 1953**

アカエソ
(図 3D)

KPM-NR 236298, 水深 12 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。
備考: 根府川では最も普通に見られるエソ科魚類である。

***Synodus variegatus* (Lacepède, 1803)**

ヒトスジエソ
(図 3E)

KPM-NR 236282, 水深 10 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影;
KPM-NR 236373, 水深 10 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

***Trachinocephalus trachinus* (Temminck & Schlegel, 1846)**

オキエソ
(図 3F)

KPM-NR 236300, 水深 12 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。
備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236300 が撮

影された一度のみ確認された。

Order Lophiiformes アンコウ目
Family Antennariidae カエルアンコウ科
***Antennarius pictus* (Shaw, 1794)**
イロカエルアンコウ

(図 3G)

KPM-NR 236383, 水深 15 m, 2022 年 9 月, 高橋監二氏撮影。

***Antennatus nummifer* (Cuvier, 1817)**

ベニカエルアンコウ
(図 3H)

KPM-NR 236384, 水深 12 m, 2022 年 6 月, 高橋監二氏撮影。

Order Gasterosteiformes トゲウオ目
Family Solenostomidae カミソリウオ科
***Solenostomus cyanopterus* Bleeker, 1854**
カミソリウオ

(図 4A)

KPM-NR 236377, 水深 2 m, 2021 年 10 月 11 日, 高橋監二氏撮影;
KPM-NR 236380, 水深 10 m, 2021 年 10 月 11 日, 高橋監二氏撮影。

Family Syngnathidae ヨウジウオ科

***Halicampus boothae* (Whitley, 1964)**

ホソウミヤッコ
(図 4B)

KPM-NR 236390, 水深 2 m, 2021 年 10 月 11 日, 高橋監二氏撮影。

備考: 当該個体は吻が著しく短いこと, および分布から, 瀬能 (2013) に従って本種に同定された。また, 頭部が黒ずむことも本種の特徴に一致した (瀬能 宏氏, 私信)。

Order Mugiliformes ボラ目

Family Mugilidae ボラ科

***Mugil cephalus cephalus* Linnaeus, 1758**

ボラ
(図 4C)

KPM-NR 236353, 水深 2 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

備考: 根府川において, 本種は消波ブロックで囲まれた波当たりの弱い場所で頻繁に出現する。

Order Perciformes スズキ目

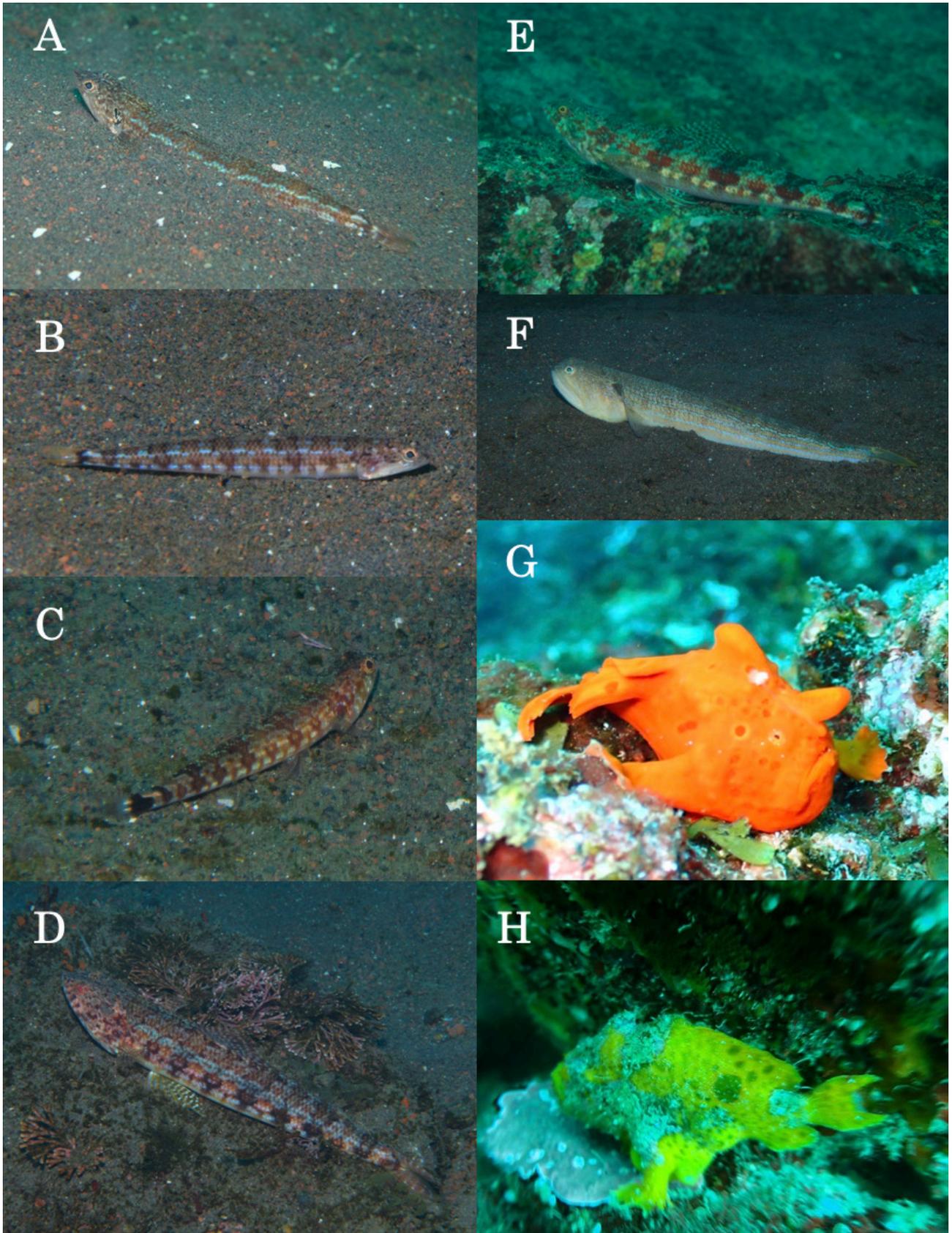


図3. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: ホシノエソ *Synodus hoshinonis*, KPM-NR 236284A; B: ホシノエソ *S. hoshinonis*, 鰓蓋上部の黒斑が不明瞭な個体, KPM-NR 236307A; C: オグロエソ *Synodus jaclum*, KPM-NR 236301A; D: アカエソ *Synodus ulae*, KPM-NR 236298A; E: ヒトスジエソ *Synodus variegatus*, KPM-NR 236282A; F: オキエソ *Trachinocephalus trachinus*, KPM-NR 236300A; G: イロカエルアンコウ *Antennarius pictus*, KPM-NR 236383A; H: ベニカエルアンコウ *Antennatus nummifer*, KPM-NR 236384A.

Family Scorpaenidae フサカサゴ科
***Pterois lunulata* Temminck & Schlegel, 1843**
ミノカサゴ
(図 4D)

KPM-NR 236316, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井 諒氏撮影。

***Pterois volitans* (Linnaeus, 1758)**
ハナミノカサゴ
(図 4E)

KPM-NR 236378, 水深 12 m, 2022 年 10 月 11 日, 高橋 監二氏撮影。

***Scorpaenodes evides* (Jordan & Thompson, 1914)**
イソカサゴ
(図 4F)

KPM-NR 33182, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236356, 水深 10 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

***Scorpaenopsis cirrosa* (Thunberg, 1793)**
オニカサゴ
(図 4G)

KPM-NR 236250, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影; KPM-NR 236341, 水深 8 m, 2021 年 10 月 23 日, 内田大賀氏撮影; KPM-NR 236345, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影; KPM-NR 236367, 水深 7 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

***Scorpaenopsis neglecta* Heckel, 1839**
サツマカサゴ
(図 4H)

KPM-NR 236276, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影; KPM-NR 236337, 水深 8 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影; KPM-NR 236354, 水深 10 m, 2021 年 9 月 15 日, 内田大賀氏撮影。

Family Sebastidae メバル科
***Sebastes inermis* Cuvier, 1829**
アカメバル
(図 5A)

KPM-NR 33196, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236264, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

備考: 本種は北側の転石帯に散在するブロック (旧根府川駅のホームが崩落したもの) の周囲で散発的にみら

れる。

上記 2 資料は, 体色が一様に淡い茶色である, 胸鰭が長くその先端が肛門を超える, 腹鰭先端が尖る, という特徴が Kai & Nakabo (2008) に述べられるアカメバルの特徴によく一致し, 本種に同定された。

***Sebastes pachycephalus* Temminck & Schlegel, 1843**
ムラソイ
(図 5B)

KPM-NR 236294, 水深 4 m, 2022 年 4 月 10 日, 深谷撮影。
備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236294 が撮影された一度のみ確認された。

***Sebastes ventricosus* Temminck & Schlegel, 1843**
クロメバル
(図 5C)

KPM-NR 236286, 水深 8 m, 2022 年 6 月 19 日, 岡本 悠雅氏撮影; KPM-NR 236328, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

備考: 本種はイシダイ根周辺, 沖根周辺でよくみられる。根府川ではアカメバルより個体数が多いと考えられる。

甲斐 (2018) は本種が単独で, 近縁のシロメバル *S. cheni* が群れで遊泳する傾向のあることを報告している。KPM-NR 236286 は, 背側が暗緑色であること, 単独でみられたことより, Kai & Nakabo (2008) および甲斐 (2018) に従って, 本種に同定された。

***Sebastiscus marmoratus* (Cuvier, 1829)**
カサゴ
(図 5D)

KPM-NR 33181, 33195, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33195, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33230, 水深 7–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 村松 繁氏撮影; KPM-NR 236327, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影; KPM-NR 236368, 水深 7 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

Family Tetrarogidae ハオコゼ科
***Paracentropogon rubripinnis* (Temminck & Schlegel, 1843)**
ハオコゼ
(図 17A)

KPM-NR 31689, 水深 12 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾 万里氏撮影; KPM-NR 33232, 水深 8–12 m, 1999 年 8 月 28 日, 村松 繁氏撮影。

Family Platycephalidae コチ科
Platycephalidae, indet. gen. & sp.
コチ科の 1 種

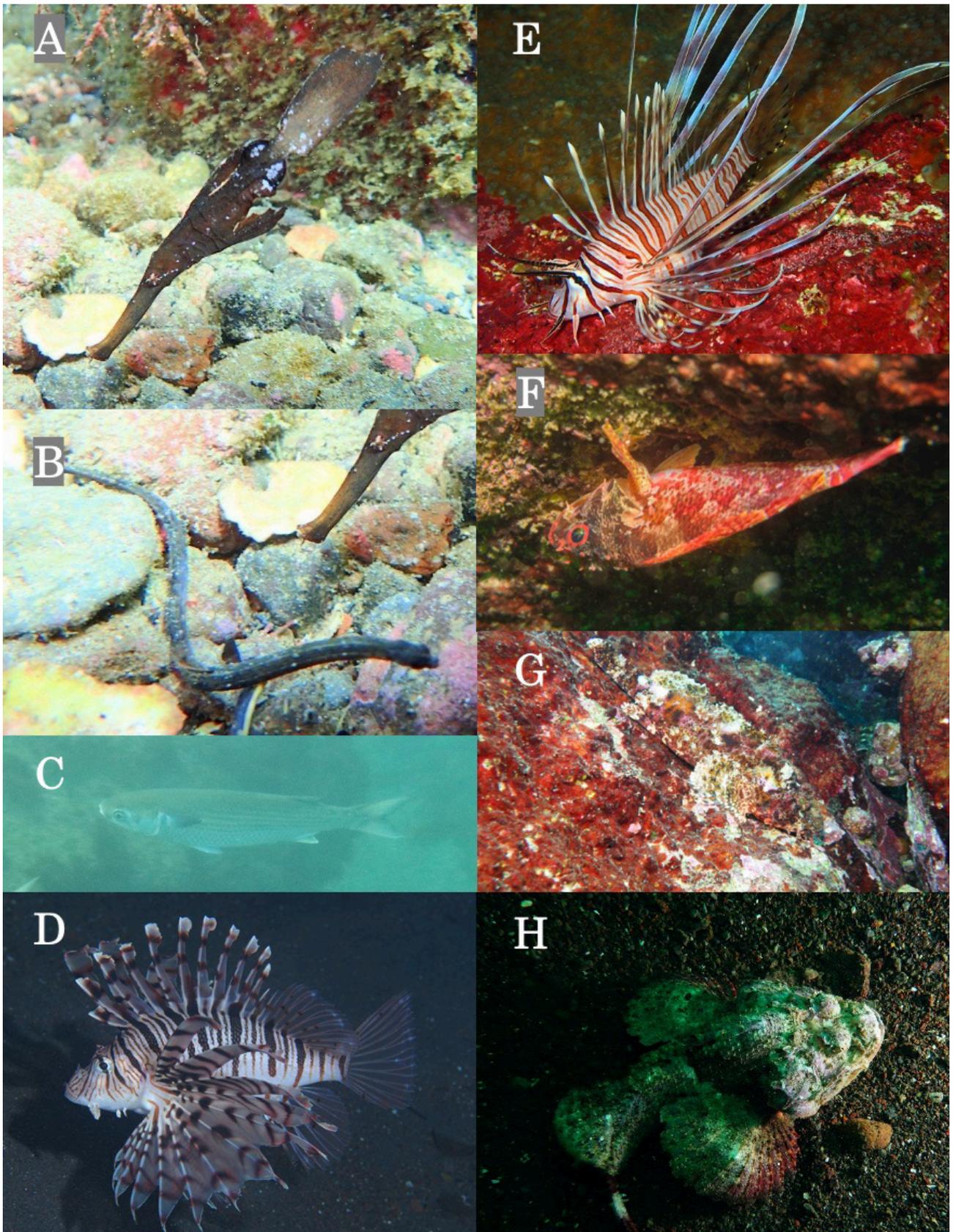


図4. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: カミソリウオ *Solenostomus cyanopterus*, KPM-NR 236377A; B: ホソウミヤッコ *Halicampus boothae*, KPM-NR 236390A; C: ボラ *Mugil cephalus cephalus*, KPM-NR 236353A; D: ミノカサゴ *Pterois lunulata*, KPM-NR 236316A; E: ハナミノカサゴ *Pterois volitans*, KPM-NR 236378A; F: イソカサゴ *Scorpaenodes evides*, KPM-NR 236356A; G: オニカサゴ *Scorpaenopsis cirrosa*, KPM-NR 236341A; H: サツマカサゴ *Scorpaenopsis neglecta*, KPM-NR 236354A.

(図 17B)

KPM-NR 31688, 水深 12 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影。

備考：当該個体の頭部の形状や眼径と吻長の比などの種同定に用いられる外見的特徴（中坊・甲斐, 2013）について、写真から判断することは困難であったため、属や種の同定には至らなかった。

***Platycephalus* sp. 2 sensu Nakabo & Kai, 2013**

マゴチ

(図 5E)

KPM-NR 236293, 水深 12 m, 2022 年 4 月 10 日, 深谷撮影。

Family Cottidae カジカ科
***Furcina osimae* Jordan & Starks, 1904**

キヌカジカ

(図 17C)

KPM-NR 33186, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33203, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影。

***Pseudoblennius argenteus* (Döderlein, 1887)**

ヤナギアナハゼ

(図 17D)

KPM-NR 13145, 水深 12 m, 1997 年 4 月 29 日, 藤代隆久氏撮影。

Family Cyclopteridae ダンゴウオ科
***Eumicrotremus awae* (Jordan & Snyder, 1902)**

ダンゴウオ

(図 5F)

KPM-NR 236381, 水深 9 m, 2021 年 2 月 21 日, 高橋監二氏撮影。

Family Epinephelidae ハタ科
***Epinephelus akaara* (Temminck & Schlegel, 1843)**

キジハタ

(図 5G)

KPM-NR 236347, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236347 が撮影された一度のみ確認された。

***Epinephelus areolatus* (Forsskål, 1775)**
オオモンハタ

(図 5H)

KPM-NR 236266, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。
備考：根府川ではアカハタ *E. fasciatus* とともに、最もよくみられるハタ科魚類の一つである。

***Epinephelus bruneus* Bloch, 1793**

クエ

(図 6A)

KPM-NR 236273, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

***Epinephelus fasciatus* (Forsskål, 1775)**

アカハタ

(図 6B)

KPM-NR 236263, 水深 7 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影；
KPM-NR 236365, 水深 5 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

Family Anthiidae ハナダイ科
***Pseudanthias rubrizonatus* (Randall, 1983)**

アカオビハナダイ

(図 6C)

KPM-NR 236299, 水深 13 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

***Pseudanthias squamipinnis* (Peters, 1855)**

キンギョハナダイ

(図 6D)

KPM-NR 236357, 水深 12 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

Family Apogonidae テンジクダイ科
***Ostorhinchus doederleini* (Jordan & Snyder, 1901)**

オオスジシモチ

(図 6E)

KPM-NR 33581, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影；KPM-NR 236243, 水深 13 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影。

***Ostorhinchus endekataenia* (Bleeker, 1852)**

コスジシモチ

(図 6F)

KPM-NR 33199, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 236253, 水深 13 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

***Ostorhinchus holotaenia* (Regan, 1905)**
スジオテンジクダイ

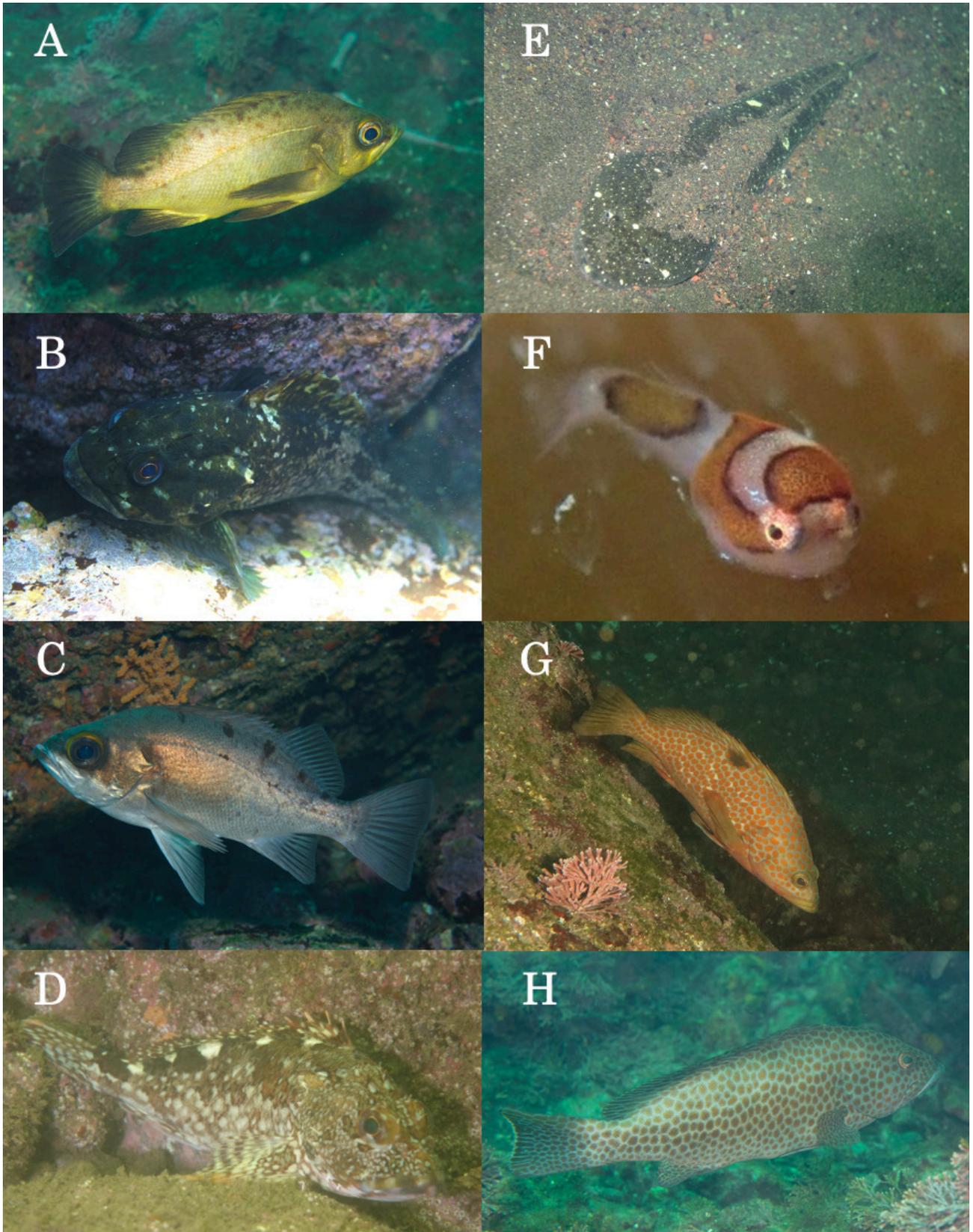


図 5. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: アカメバル *Sebastes inermis*, KPM-NR 236264A; B: ムラソイ *Sebastes pachycephalus*, KPM-NR 236294A; C: クロメバル *Sebastes ventricosus*, KPM-NR 236328A; D: カサゴ *Sebastes marmoratus*, KPM-NR 236368A; E: マゴチ *Platycephalus* sp. 2, KPM-NR 236293A; F: ダンゴウオ *Eumicrotremus awae*, KPM-NR 236381A; G: キジハタ *Epinephelus akaara*, KPM-NR 236347A; H: オオモンハタ *Epinephelus areolatus*, KPM-NR 236266A.

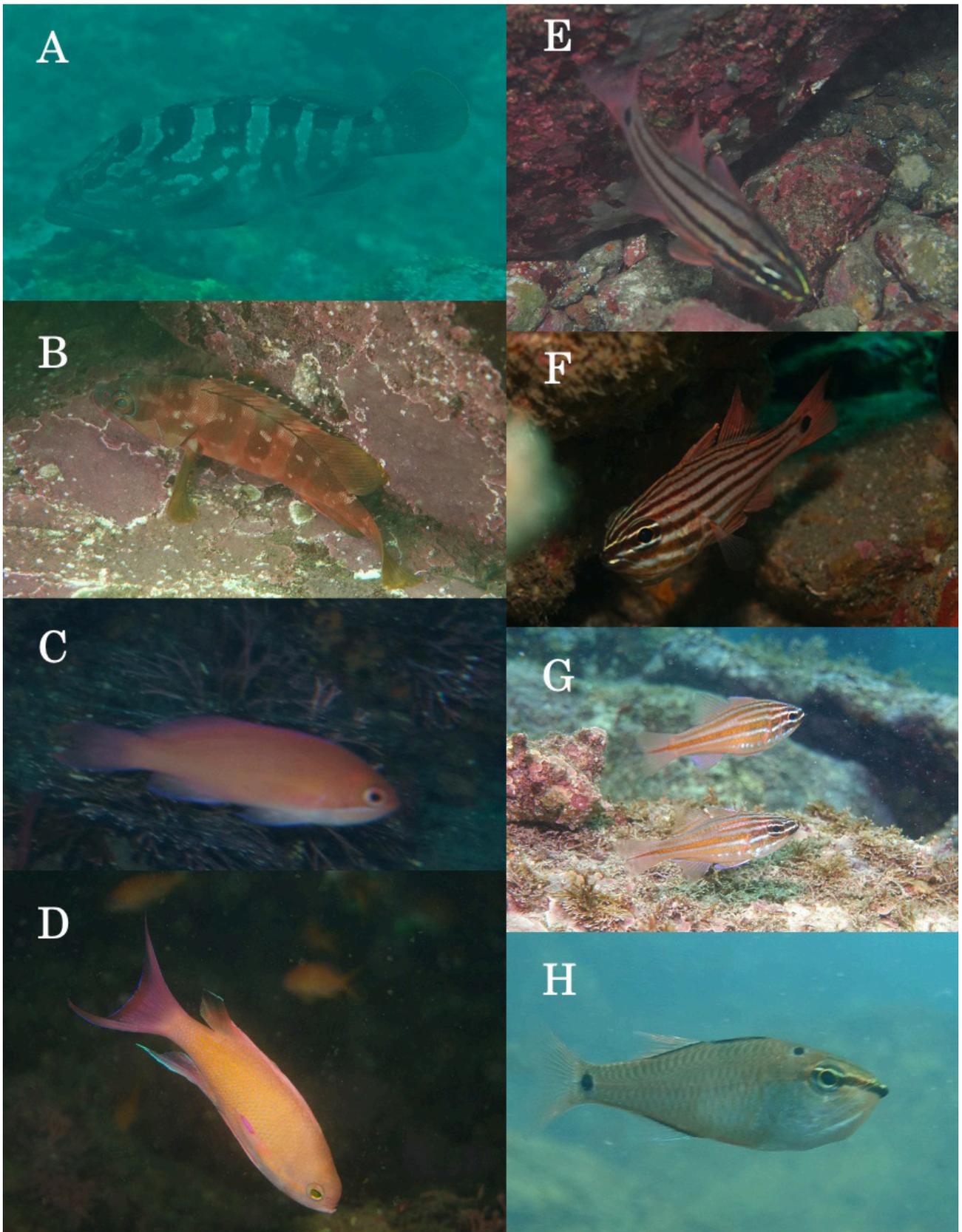


図 6. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: クエ *Epinephelus bruneus*, KPM-NR 236273A; B: アカハタ *Epinephelus fasciatus*, KPM-NR 236263A; C: アカオビハナダイ *Pseudanthias rubrizonatus*, KPM-NR 236299A; D: キンギョハナダイ *Pseudanthias squamipinnis*, KPM-NR 236357A; E: オオスジイシモチ *Ostorhinchus doederleini*, KPM-NR 236243A; F: コスジイシモチ *Ostorhinchus endekataenia*, KPM-NR 236253A; G: スジオテンジクダイ *Ostorhinchus holotaenia*, KPM-NR 236255A; H: クロホシイシモチ *Ostorhinchus notatus*, KPM-NR 236251A.

(図 6G)

KPM-NR 236255, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

***Ostorhinchus notatus* (Houttuyn, 1782)**

クロホシイシモチ

(図 6H)

KPM-NR 33200, 33202, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236251, 水深 6 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

備考: 砂地に点在する礁(イシダイ根・中根・新根・沖根)の周囲にて, ネンブツダイ *O. semilineatus* とともに大規模な群れを形成する姿がしばしばみられる。

***Ostorhinchus semilineatus* (Temminck & Schlegel, 1843)**

ネンブツダイ

(図 7A)

KPM-NR 32942, 水深 18–20 m, 1999 年 8 月 15 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33202 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33587, 33588, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影; KPM-NR 236280, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

Family Scombroidea ムツ科

***Scombroops boops* (Houttuyn, 1782)**

ムツ

(図 7B)

KPM-NR 236285, 水深 2 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。当該写真は波あたりの弱い浅場にて 30 匹ほどの群れで遊泳しているところを撮影したものである。

備考: 本調査においては, KPM-NR 236285 が撮影された一度のみ本種が確認された。

Family Haemulidae イサキ科

***Diagramma pictum pictum* (Thunberg, 1792)**

コロダイ

(図 7C)

KPM-NR 29480, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 内野啓道氏撮影; KPM-NR 31686, 水深 11 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影; KPM-NR 33183, 33184, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236275, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

***Parapristipoma trilineatum* (Thunberg, 1793)**

イサキ

(図 7D)

KPM-NR 236334, 水深 3 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤

想也氏撮影。

Family Lethrinidae フエフキダイ科

***Gymnocranius griseus* (Temminck & Schlegel, 1843)**

メイチダイ

(図 7E)

KPM-NR 236287, 水深 8 m, 2022 年 6 月 19 日, 岡本悠雅氏撮影。

Family Mullidae ヒメジ科

***Parupeneus ciliatus* (Lacepède, 1802)**

ホウライヒメジ

(図 7F)

KPM-NR 236289, 水深 8 m, 2022 年 6 月 19 日, 岡本悠雅氏撮影; KPM-NR 236352, 水深 8 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

***Parupeneus multifasciatus* (Quoy & Gaimard, 1825)**

オジサン

(図 7G)

KPM-NR 236326, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

備考: 当該個体は成魚であるが, 根府川では本種の幼魚もしばしば観察される。

***Upeneus japonicus* (Houttuyn, 1782)**

ヒメジ

(図 7H)

KPM-NR 33206, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236322, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

***Upeneus tragula* Richardson, 1846**

ヨメヒメジ

(図 7I)

KPM-NR 33580, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影; KPM-NR 236340, 水深 10 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

Family Pempheridae ハタンボ科

***Pempheris* sp.**

ハタンボ属の 1 種

(図 8A)

KPM-NR 236364, 水深 5 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。
備考: 根府川ではミナミハタンボ *P. schwenkii* の成魚が多く確認されていることから KPM-NR 236364 もミナ

ミハタンボである可能性が高いと考えられるが、ツマガ
ロハタンボ *P. japonica* Döderlein, 1883 を除くハタンボ属
の識別は当該個体の成長段階では困難である（瀬能 宏
氏、私信）ことから、種レベルの同定は留保した。

***Pempheris schwenkii* Bleeker, 1855**

ミナミハタンボ

(図 8B)

KPM-NR 236281, 水深 1 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。
備考：本種は岸近くの消波ブロックの内側にて、ほぼ周
年小規模な群れを形成する。

Family Chaetodontidae チョウチョウウオ科

***Chaetodon auripes* Jordan & Snyder, 1901**

チョウチョウウオ

(図 8C)

KPM-NR 236244, 水深 8 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影；
KPM-NR 236279, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

***Chaetodon nippon* Steindachner & Döderlein, 1883**

シラコダイ

(図 8D)

KPM-NR 236332, 水深 10 m, 2021 年 11 月 27 日, 浪
川大誠氏撮影。

***Chaetodon selene* Bleeker, 1853**

テングチョウチョウウオ

(図 8E)

KPM-NR 236359, 水深 12 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷
撮影。当該写真は北側の転石帯の崩落ホーム付近で撮影
された。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236359 が撮
影された一度のみ確認された。

***Chaetodon vagabundus* Linnaeus, 1758**

フウライチョウチョウウオ

(図 8F)

KPM-NR 236342, 水深 8 m, 2021 年 10 月 23 日, 内田
大賀氏撮影。

Family Pomacanthidae キンチャクダイ科

***Chaetodontoplus septentrionalis* (Temminck & Schlegel, 1844)**

キンチャクダイ

(図 8G)

KPM-NR 236302, 水深 8 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚ともにみられる。

Family Cirrhitidae ゴンベ科

***Cirrhitichthys aureus* (Temminck & Schlegel, 1843)**

オキゴンベ

(図 8H)

KPM-NR 236325, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 深
谷撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚ともによくみられる。

***Oxycirrhites typus* Bleeker, 1857**

クダゴンベ

(図 9A)

KPM-NR 236382, 水深 24 m, 2021 年 8 月－11 月 (詳
細な日付不明), 高橋監二氏撮影。

備考：当該写真のみ, 図 1 に示された調査区の沖合,
汀線から 1.5 km ほどの場所で撮影された。

Family Latridae タカノハダイ科

***Goniistius zebra* (Döderlein, 1883)**

ミギマキ

(図 9B)

KPM-NR 236290, 水深 8 m, 2022 年 6 月 19 日, 岡本
悠雅氏撮影。

備考：根府川ではタカノハダイに比べて観察される個
体数が少ない。

***Goniistius zonatus* (Cuvier, 1830)**

タカノハダイ

(図 9C)

KPM-NR 236314, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 西
井 諒氏撮影；KPM-NR 236351, 水深 8 m, 2021 年 10
月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚ともによくみられる。

Family Embiotocidae ウミタナゴ科

***Ditrema temminckii pacificum* Katafuchi & Nakabo, 2007**

マタナゴ

(図 9D)

KPM-NR 236308, 水深 3 m, 2022 年 1 月 15 日, 吉川
大模氏撮影。

Family Pomacentridae スズメダイ科

***Chromis notata* (Temminck & Schlegel, 1843)**

スズメダイ

(図 9E)

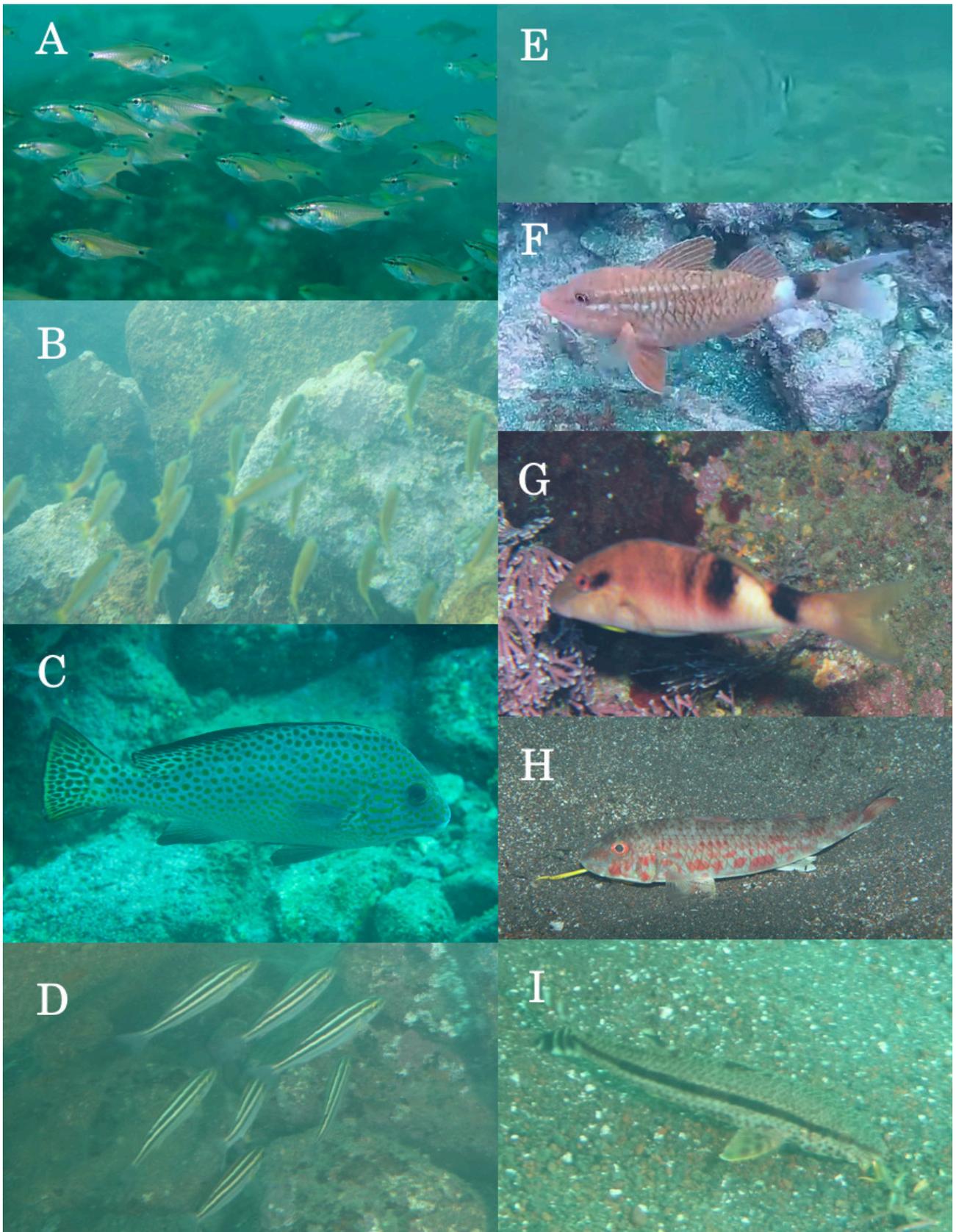


図7. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: ネンブツダイ *Ostorhinchus semilineatus*, KPM-NR 236280A; B: ムツ *Scombrops boops*, KPM-NR 236285A; C: コロダイ *Diagramma pictum pictum*, KPM-NR 236275A; D: イサキ *Parapristipoma trilineatum*, KPM-NR 236334A; E: メイチダイ *Gymnocranius griseus*, KPM-NR 236287A; F: ホウライヒメジ *Parupeneus ciliatus*, KPM-NR 236289A; G: オジサン *Parupeneus multifasciatus*, KPM-NR 236326A; H: ヒメジ *Upeneus japonicus*, KPM-NR 236322A; I: ヨメヒメジ *Upeneus tragula*, KPM-NR 236340A.

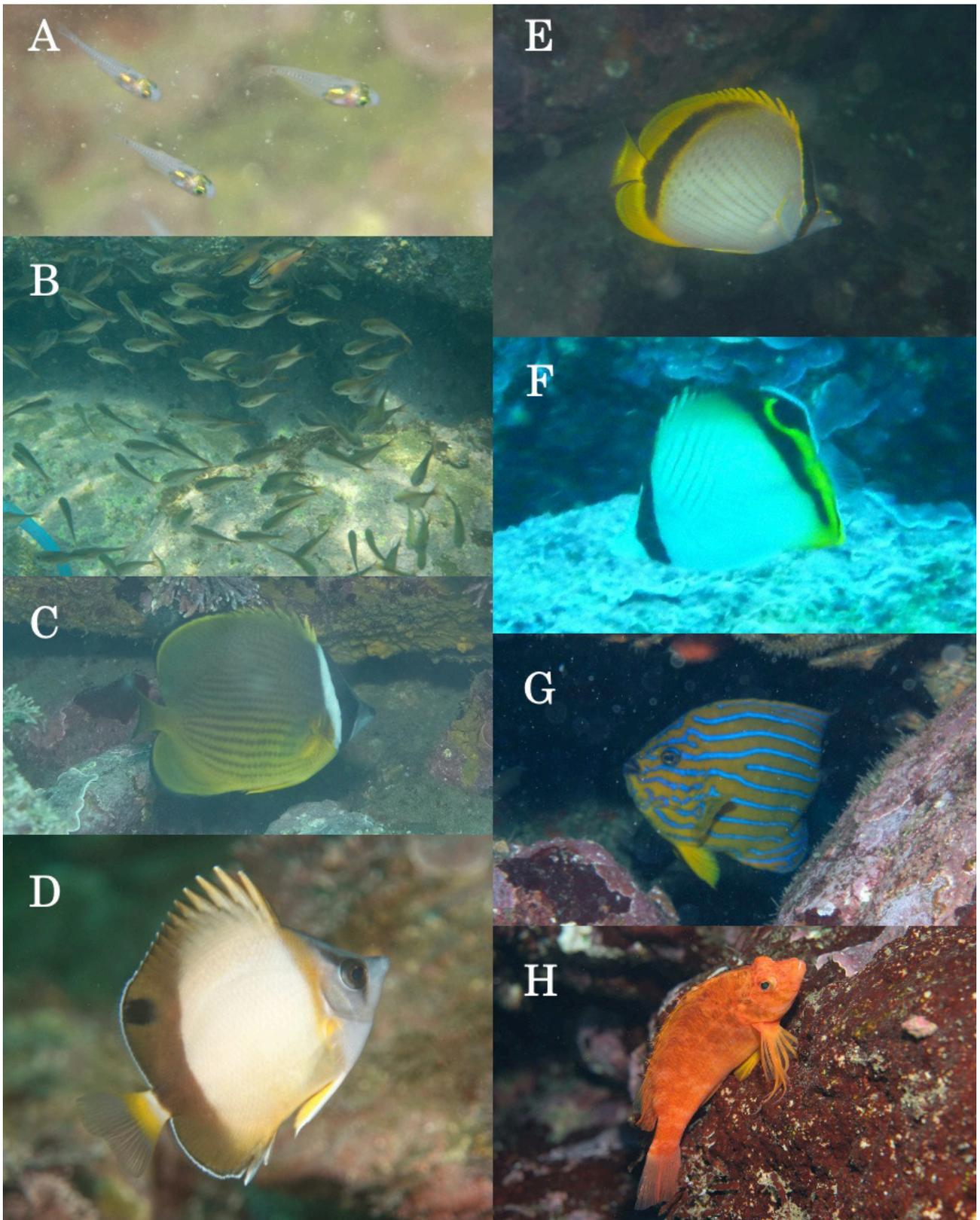


図8. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: ハタンボ属の1種 *Pempheris* sp., KPM-NR 236364A; B: ミナミハタンボ *Pempheris schwenkii*, KPM-NR 236281A; C: チョウチョウウオ *Chaetodon auripes*, KPM-NR 236279A; D: シラコダイ *Chaetodon nippon*, KPM-NR 236332A; E: テングチョウチョウウオ *Chaetodon selene*, KPM-NR 236359A; F: フウライチョウチョウウオ *Chaetodon vagabundus*, KPM-NR 236342A; G: キンチャクダイ *Chaetodontoplus septentrionalis*, KPM-NR 236302A; H: オキゴンベ *Cirrhichthys aureus*, KPM-NR 236325A.

KPM-NR 33185, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236387, 水深不明, 2022 年 3 月 16 日, 浪川大誠氏撮影。

***Dascyllus trimaculatus* (Rüppell, 1829)**

ミツボシクロスズメダイ

(図 9F)

KPM-NR 236246, 水深 13 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影; KPM-NR 236339, 水深 12 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

***Pycnochromis margaritifer* (Fowler, 1946)**

シコクスズメダイ

(図 9G)

KPM-NR 236247, 水深 10 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影。

***Abudefduf vaigiensis* (Quoy & Gaimard, 1825)**

オヤビツチャ

(図 9H)

KPM-NR 236346, 水深 8 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

***Plectroglyphidodon altus* (Okada & Ikeda, 1937)**

セダカスズメダイ

(図 10A)

KPM-NR 236277, 水深 5 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。
備考: 根府川において, 本種は消波ブロック周辺の浅場で頻繁に確認されている。

***Pomacentrus coelestis* Jordan & Starks, 1901**

ソラスズメダイ

(図 10B)

KPM-NR 33204, 33205, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236245, 水深 8 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影; KPM-NR 236313, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井 諒氏撮影。

Family Scorpididae タカベ科

***Labracoglossa argentiventris* Peters, 1866**

タカベ

(図 10C)

KPM-NR 236288, 水深 8 m, 2022 年 6 月 19 日, 岡本悠雅氏撮影。

Family Oplegnathidae イシダイ科

***Oplegnathus fasciatus* (Temminck & Schlegel, 1844)**

イシダイ

(図 10D)

KPM-NR 33197, 33198, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33228, 水深 7–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 村松 繁氏撮影; KPM-NR 236344, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

***Oplegnathus punctatus* (Temminck & Schlegel, 1844)**

イシガキダイ

(図 10E)

KPM-NR 236366, 水深 5 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

Family Microcanthidae カゴカキダイ科

***Microcanthus strigatus* (Cuvier, 1831)**

カゴカキダイ

(図 10F)

KPM-NR 236269, 水深 2 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

Family Girellidae メジナ科

***Girella punctata* Gray, 1835**

メジナ

(図 10G)

KPM-NR 236331, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

Family Labridae ベラ科

***Anampses caeruleopunctatus* Rüppell, 1829**

ブチスキベラ

(図 10H)

KPM-NR 236372, 水深 2 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。
備考: 根府川において, 本種は KPM-NR 236372 が撮影された一度のみ確認された。

***Bodianus axillaris* (Bennett, 1832)**

スミツキベラ

(図 11A)

KPM-NR 236350, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

備考: 根府川において, 本種は KPM-NR 236350 が撮影された一度のみ確認された。

***Bodianus dictynna* Gomon, 2006**

モンツキベラ

(図 11B)

KPM-NR 236323, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

備考：根府川において、本種は KPM-NR 236323 が撮影された一度のみ確認された。

本種は千葉県館山湾を分布東限とし（島田, 2013）、相模湾においては、伊豆半島東岸（林ほか, 2000 など）、および千葉県館山（萩原・木村, 2005）より記録があるが、神奈川県からの記録はない。よって KPM-NR 236323 は神奈川県からの本種の初記録であるとともに、本種の分布北限をわずかに更新するものであると考えられる。

***Cirrhilabrus temminckii* Bleeker, 1853**

イトヒキベラ

(図 11C)

KPM-NR 236265, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

***Coris dorsomacula* Fowler, 1908**

スジベラ

(図 11D)

KPM-NR 236304, 水深 8 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

***Halichoeres nebulosus* (Valenciennes, 1839)**

イナズマベラ

(図 11E)

KPM-NR 236324, 水深 5 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

備考：根府川において、本種は KPM-NR 236324 が撮影された一度のみ確認された。

***Halichoeres tenuispinis* (Günther, 1862)**

ホンベラ

(図 11F)

KPM-NR 236292, 水深 8 m, 2022 年 4 月 10 日, 深谷撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚とも頻繁に観察され、サンゴモ類の生育する転石帯（北側・南側両方）において個体数が非常に多い。

***Labroides dimidiatus* (Valenciennes, 1839)**

ホンソメワケベラ

(図 11G)

KPM-NR 33210, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 236343, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

***Oxycheilinus bimaculatus* (Valenciennes, 1840)**

タコベラ

(図 11H)

KPM-NR 236318, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

***Parajulis poecileptera* (Temminck & Schlegel, 1845)**

キュウセン

(図 12A)

KPM-NR 29479, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 内野啓道氏撮影；KPM-NR 33188, 33190, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33209, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33582, 33583, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎；KPM-NR 236348, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影；KPM-NR 236389, 水深不明, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚とも頻繁に観察され、サンゴモ類の生育する転石帯（北側・南側両方）において個体数が非常に多い。

***Pseudolabrus eoethinus* (Richardson, 1846)**

アカササノハベラ

(図 12B)

KPM-NR 236309, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井諒氏撮影。

備考：調査区の全域においてみられ、沖合では幼魚もみられる。ササノハベラ属 *Pseudolabrus* については、黒潮の影響を強く受ける半島先端部のような海域でアカササノハベラ *P. eoethinus* が多く、逆に冬期に水温が低下しやすい湾奥部のような海域でホシササノハベラ *P. sieboldi* が多いことが報告されている（馬淵, 2003）が、根府川では本種が圧倒的に多い。

***Pseudolabrus sieboldi* Mabuchi & Nakabo, 1997**

ホシササノハベラ

(図 12C)

KPM-NR 236306, 水深 10 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

***Pteragogus aurigarius* (Richardson, 1845)**

オハグロベラ

(図 12D)

KPM-NR 33187, 33189 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33208, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 236268, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

***Stethojulis interrupta terina* Jordan & Snyder, 1902**

カミナリベラ

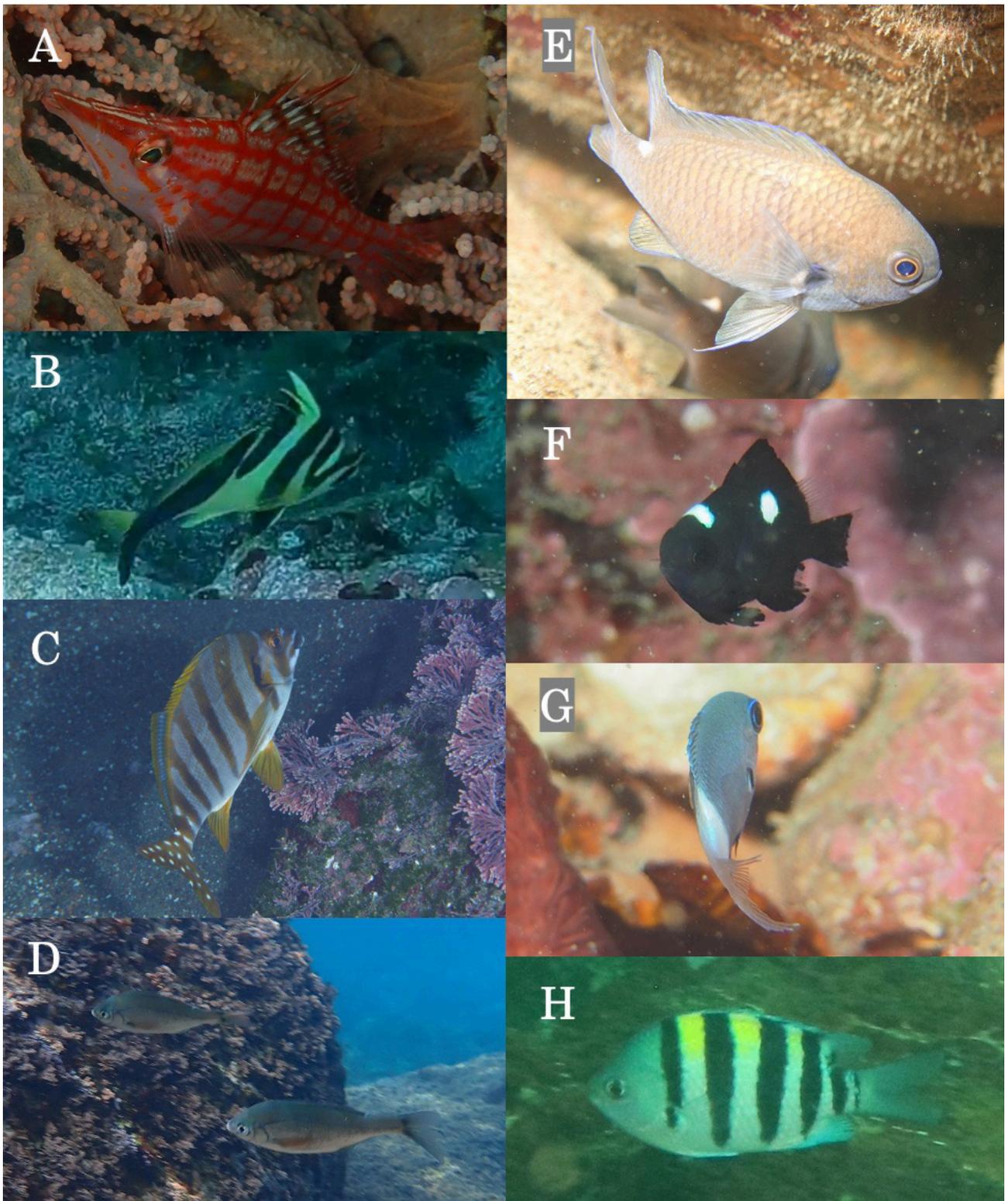


図9. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: クダゴンベ *Oxycirrhites typus*, KPM-NR 236382A; B: ミギマキ *Goniistius zebra*, KPM-NR 236290A; C: タカノハダイ *Goniistius zonatus*, KPM-NR 236314A; D: マタナゴ *Ditrema temminckii pacificum*, KPM-NR 236308A; E: スズメダイ *Chromis notata*, KPM-NR 236387A; F: ミツボシクロスズメダイ *Dascyllus trimaculatus*, KPM-NR 236246A; G: シコクスズメダイ *Pycnochromis margaritifer*, KPM-NR 236247B; H: オヤビッチャ *Abudefduf vaigiensis*, KPM-NR 236346A.

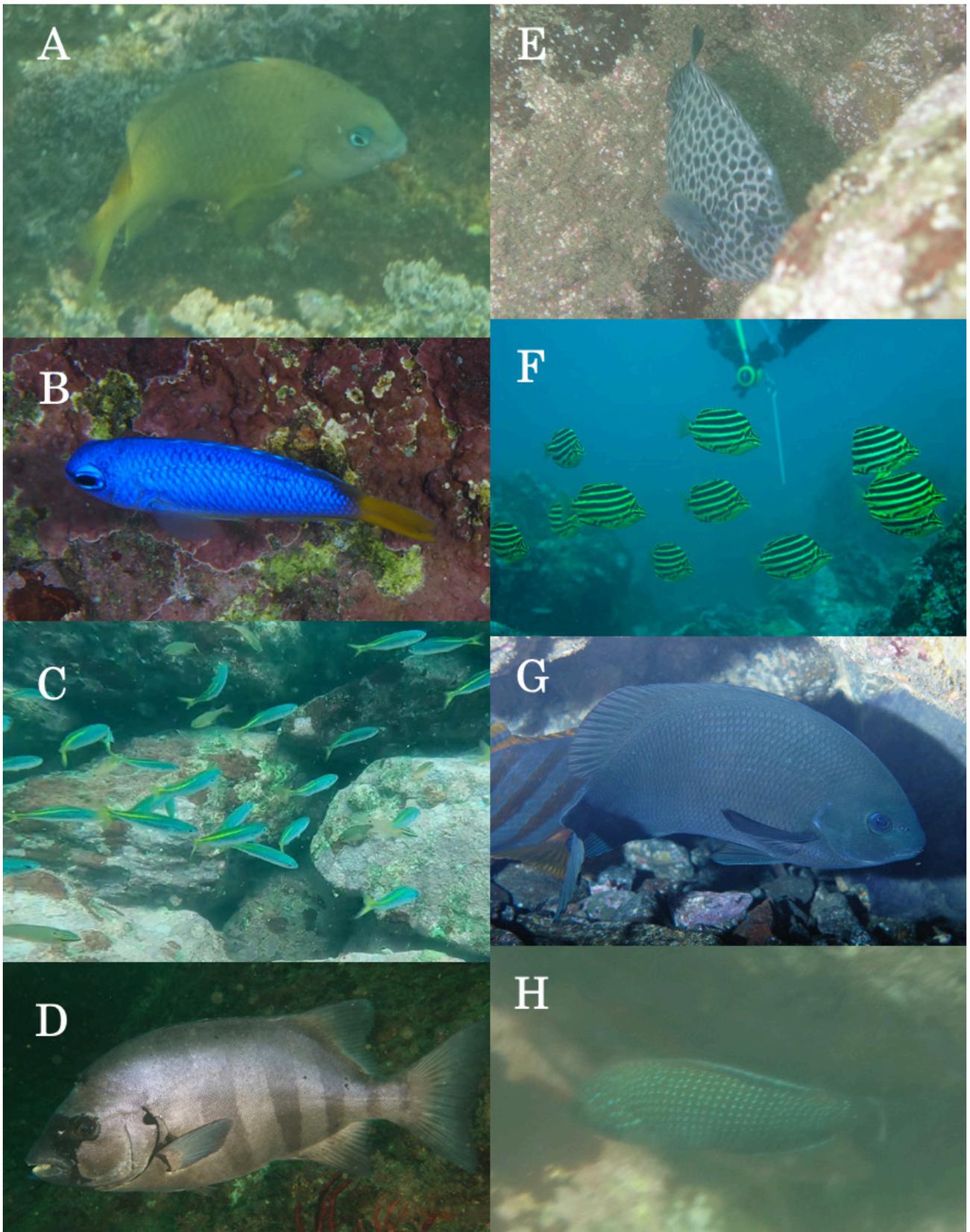


図 10. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: セダカスズメダイ *Plectroglyphidodon altus*, KPM-NR 236277A; B: ソラスズメダイ *Pomacentrus coelestis*, KPM-NR 236313A; C: タカベ *Labracoglossa argentiventris*, KPM-NR 236288A; D: イシダイ *Oplegnathus fasciatus*, KPM-NR 236344A; E: イシガキダイ *Oplegnathus punctatus*, KPM-NR 236366A; F: カゴカキダイ *Microcanthus strigatus*, KPM-NR 236269A; G: メジナ *Girella punctata*, KPM-NR 236331A; H: ブチスキベラ *Anampses caeruleopunctatus*, KPM-NR 236372A.

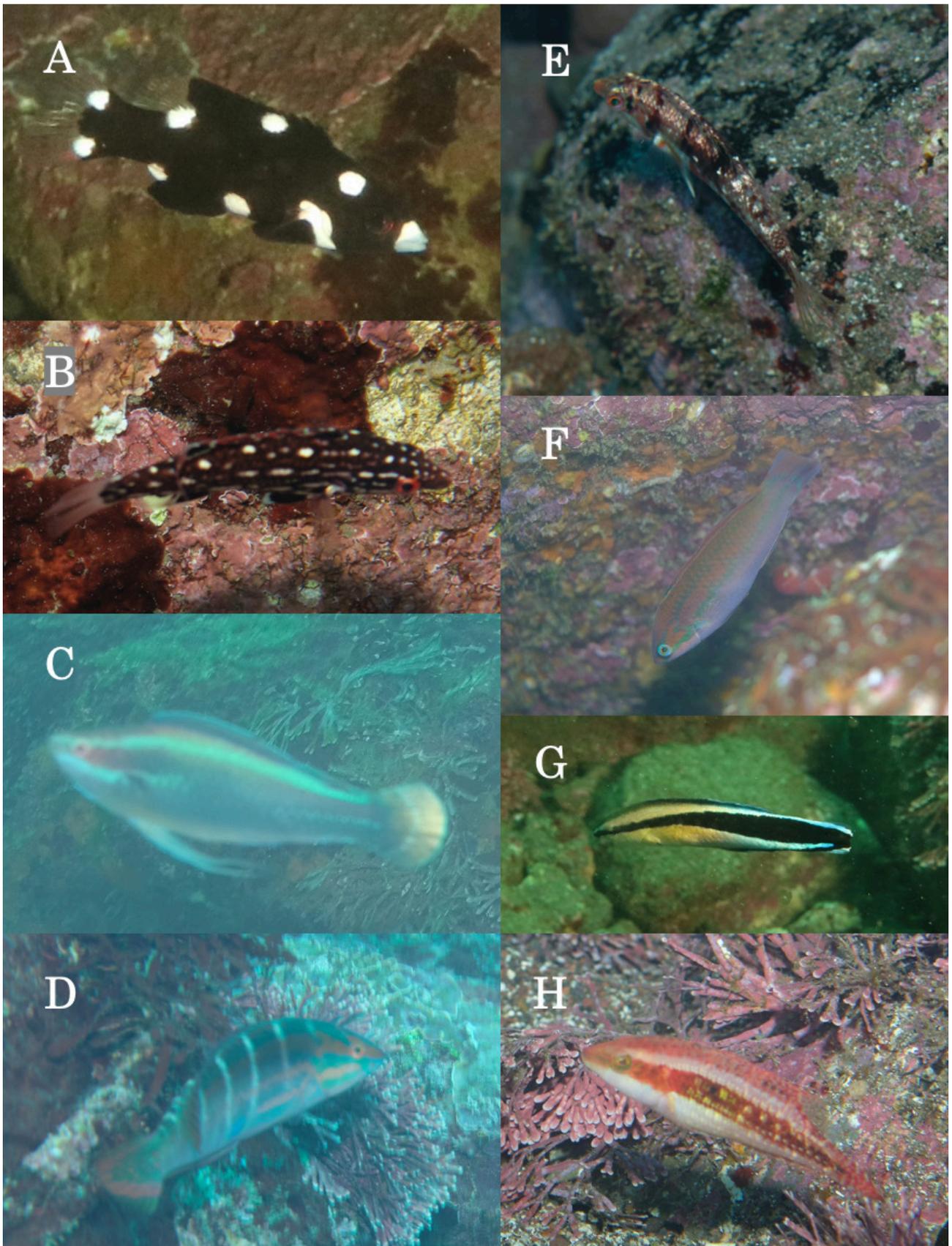


図 11. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: スミツキベラ *Bodianus axillaris*, KPM-NR 236350A; B: モンツキベラ *Bodianus dictynna*, KPM-NR 236323A; C: イトヒキベラ *Cirrhilabrus temminckii*, KPM-NR 236265A; D: スジベラ *Coris dorsomacula*, KPM-NR 236304A; E: イナズマベラ *Halichoeres nebulosus*, KPM-NR 236324A; F: ホンベラ *Halichoeres tenuispinis*, KPM-NR 236292A; G: ホンソメワケベラ *Labroides dimidiatus*, KPM-NR 236343A; H: タコベラ *Oxycheilinus bimaculatus*, KPM-NR 236318A.

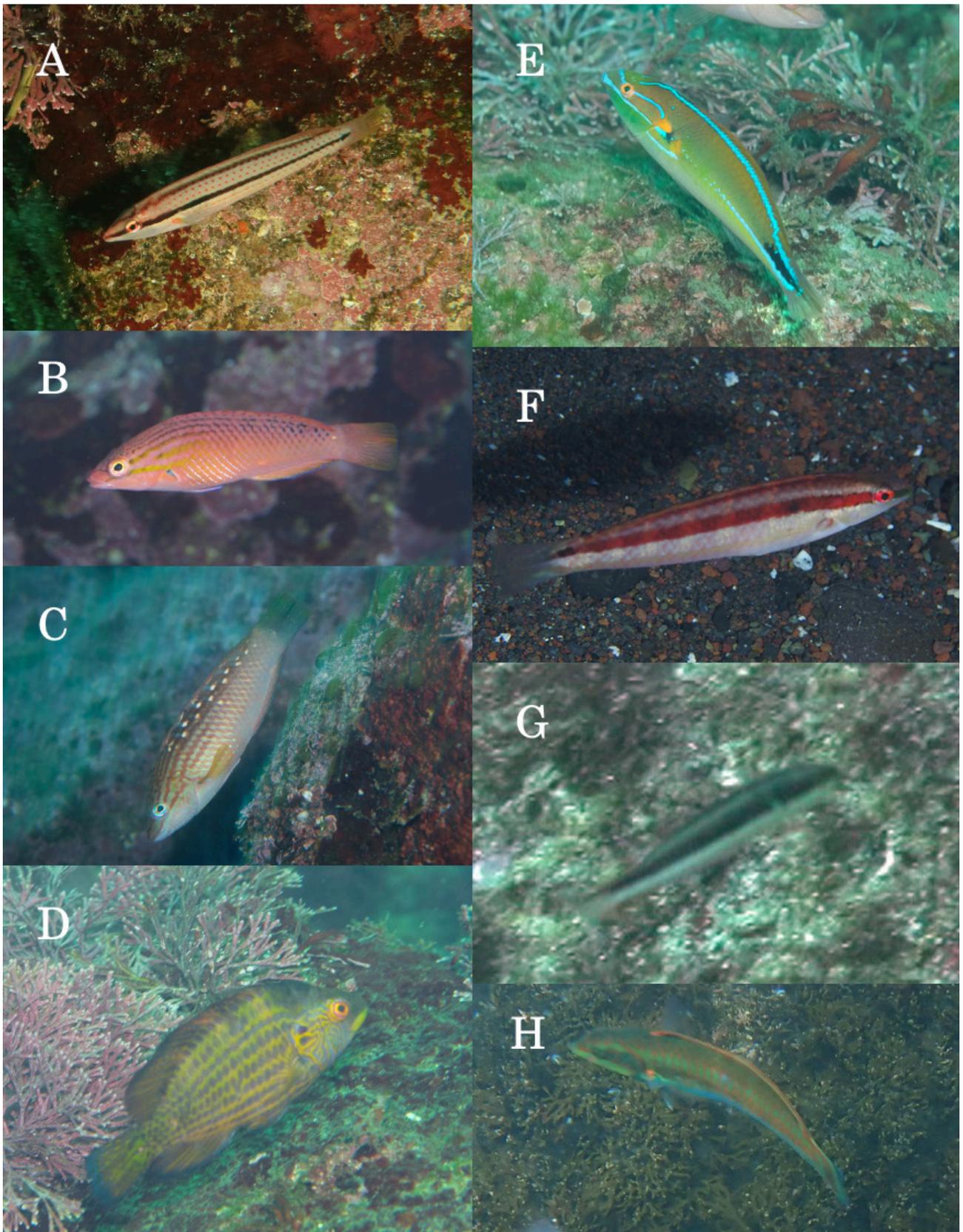


図 12. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A : キウセン *Parajulis poecileptera*, KPM-NR 236389A ; B : アカササノハベラ *Pseudolabrus eoethinus*, KPM-NR 236309A ; C : ホシササノハベラ *Pseudolabrus sieboldi*, KPM-NR 236306A ; D : オハグロベラ *Pteragogus aurigarius*, KPM-NR 236268A ; E : カミナリベラ *Stethojulis interrupta terina*, KPM-NR 236272A ; F : イトベラ *Suezichthys gracilis*, KPM-NR 236310A ; G : コガシラベラ *Thalassoma amblycephalum*, KPM-NR 236374A ; H : ニシキベラ *Thalassoma cupido*, KPM-NR 236371A.

(図 12E)

KPM-NR 236272, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

備考：根府川では最も個体数の多いベラ科魚類の一つであると考えられる。根府川では幼魚・成魚とも頻りに観察され、サンゴモ類の生育する転石帯（北側・南側両方）において個体数が非常に多い。

***Suezichthys gracilis* (Steindachner & Döderlein, 1887)**

イトベラ

(図 12F)

KPM-NR 236310, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井諒氏撮影。

***Thalassoma amblycephalum* (Bleeker, 1856)**

コガシラベラ

(図 12G)

KPM-NR 236349, 水深 10 m, 2021 年 10 月 23 日, 伊藤想也氏撮影；KPM-NR 236374, 水深不明, 日付不明, 高橋監二氏撮影。

備考：本種の神奈川県における記録は、工藤・岡部（1991）の目視観察による報告のみである。よって、上記 2 資料は写真に基づく本種の神奈川県初記録であると考えられる。

***Thalassoma cupido* (Temminck & Schlegel, 1845)**

ニシキベラ

(図 12H)

KPM-NR 236371, 水深 1 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

備考：本種は水深 3 m 以浅の浅場でよく観察される。

***Thalassoma lunare* (Linnaeus, 1758)**

オトメベラ

(図 13A)

KPM-NR 236267, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影；
KPM-NR 236335, 水深 4 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

***Thalassoma lutescens* (Lay & Bennett, 1839)**

ヤマブキベラ

(図 13B)

KPM-NR 236385, 水深 4 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236385 が撮影された一度のみ確認された。

Family Scaridae ブダイ科

***Calotomus japonicus* (Valenciennes, 1840)**

ブダイ

(図 13C)

KPM-NR 236338, 水深 8 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

備考：根府川では幼魚・成魚ともに確認されている。

***Scarus ovifrons* Temminck & Schlegel, 1846**

アオブダイ

(図 13D)

KPM-NR 236262, 水深 3 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

Family Pinguipedidae トラギス科

***Parapercis pulchella* (Temminck & Schlegel, 1843)**

トラギス

(図 13E)

KPM-NR 236315, 水深 10 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井諒氏撮影。

***Parapercis snyderi* Jordan & Starks, 1905**

コウライトラギス

(図 13F)

KPM-NR 31687, 水深 12 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影；KPM-NR33207, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能宏氏撮影；KPM-NR 236252, 水深 8 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影；KPM-NR 236303, 水深 8 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

備考：根府川ではトラギス *P. pulchella* より個体数が多いと考えられる。

Family Trichonotidae ベラギンボ科

***Trichonotus filamentosus* (Steindachner, 1867)**

クロエリギンボ

(図 17E)

KPM-NR 210078, 水深 7.5 m, 1999 年 8 月 28 日, 内野啓道氏撮影。

Family Tripterygiidae ヘビギンボ科

***Enneapterygius etheostoma* (Jordan & Snyder, 1902)**

ヘビギンボ

(図 13G)

KPM-NR 236369, 水深 0.5 m, 2021 年 7 月 16 日, 手網, 深谷採集。

備考：本種は岸近くの消波ブロックに付いていることが多い。

Family Blenniidae イソギンポ科
***Petroscirtes breviceps* (Valenciennes, 1836)**
ニジギンポ
(図 13H)

KPM-NR 236305, 水深 8 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影。

***Petroscirtes springeri* Smith-Vaniz, 1976**
フタホシニジギンポ
(図 14A)

KPM-NR 236388, 水深 3 m, 2022 年 3 月 16 日, 浪川大誠氏撮影。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236388 が撮影された一度のみ確認された。

***Plagiotremus rhinorhynchos* (Bleeker, 1852)**
ミナミギンポ
(図 14B)

KPM-NR 236363, 水深 5 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236363 が撮影された一度のみ確認された。

***Plagiotremus tapeinosoma* (Bleeker, 1857)**
テンクロスジギンポ
(図 14C)

KPM-NR 236249, 水深 1 m, 2022 年 9 月 27 日, 深谷撮影。

Family Gobiidae ハゼ科
***Amblyeleotris japonica* Takagi, 1957**
ダテハゼ
(図 14D)

KPM-NR 236257, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

***Fusigobius duospilus* Hoese & Reader, 1985**
セホシサンカクハゼ
(図 14E)

KPM-NR 236296, 水深 10 m, 2022 年 3 月 16 日, 深谷撮影。

備考：本調査において、本種は KPM-NR 236296 が撮影された一度のみ確認された。

本種は相模湾において、伊豆半島東岸（瀬能, 1990 など）、千葉県館山市（萩原・木村, 2005）から報告されているが、神奈川県からの記録はない。よって、KPM-NR 236296 は神奈川県からの初記録かつ北限記録である

と考えられる。

***Istigobius campbelli* (Jordan & Snyder, 1901)**
クツワハゼ
(図 14F)

KPM-NR 31685, 水深 10 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影；KPM-NR 33191, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33585, 33586, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影；KPM-NR 236358, 水深 12 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

***Istigobius hoshinonis* (Tanaka, 1917)**
ホシノハゼ
(図 14G)

KPM-NR 236291, 水深 10 m, 2022 年 4 月 10 日, 深谷撮影；KPM-NR 236297, 水深 8 m, 2022 年 2 月 6 日, 深谷撮影；KPM-NR 236362, 水深 10 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

***Pterogobius zonoleucus* Jordan & Snyder, 1901**
チャガラ
(図 17F)

KPM-NR 33229, 水深 7–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 村松 繁氏撮影。

***Sagamia geneionema* (Hilgendorf, 1879)**
サビハゼ
(図 14H)

KPM-NR 29478, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 内野啓道氏撮影；KPM-NR 31683, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 妹尾万里氏撮影；KPM-NR 33211, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影；KPM-NR 33573, 33574, 33575, 33576, 33577, 33578, 33579, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影；KPM-NR 236370, 水深 6 m, 2021 年 7 月 16 日, 深谷撮影。

備考：本調査期間中、本種は KPM-NR 236370 が撮影された一度のみ確認された。

***Valenciennea strigata* (Broussonet, 1782)**
アカハチハゼ
(図 14I)

KPM-NR 236373, 水深 8 m, 2022 年 10 月 11 日, 高橋監二氏撮影。

Family Ptereleotridae クロユリハゼ科
***Ptereleotris hanae* (Jordan & Snyder, 1901)**
ハナハゼ

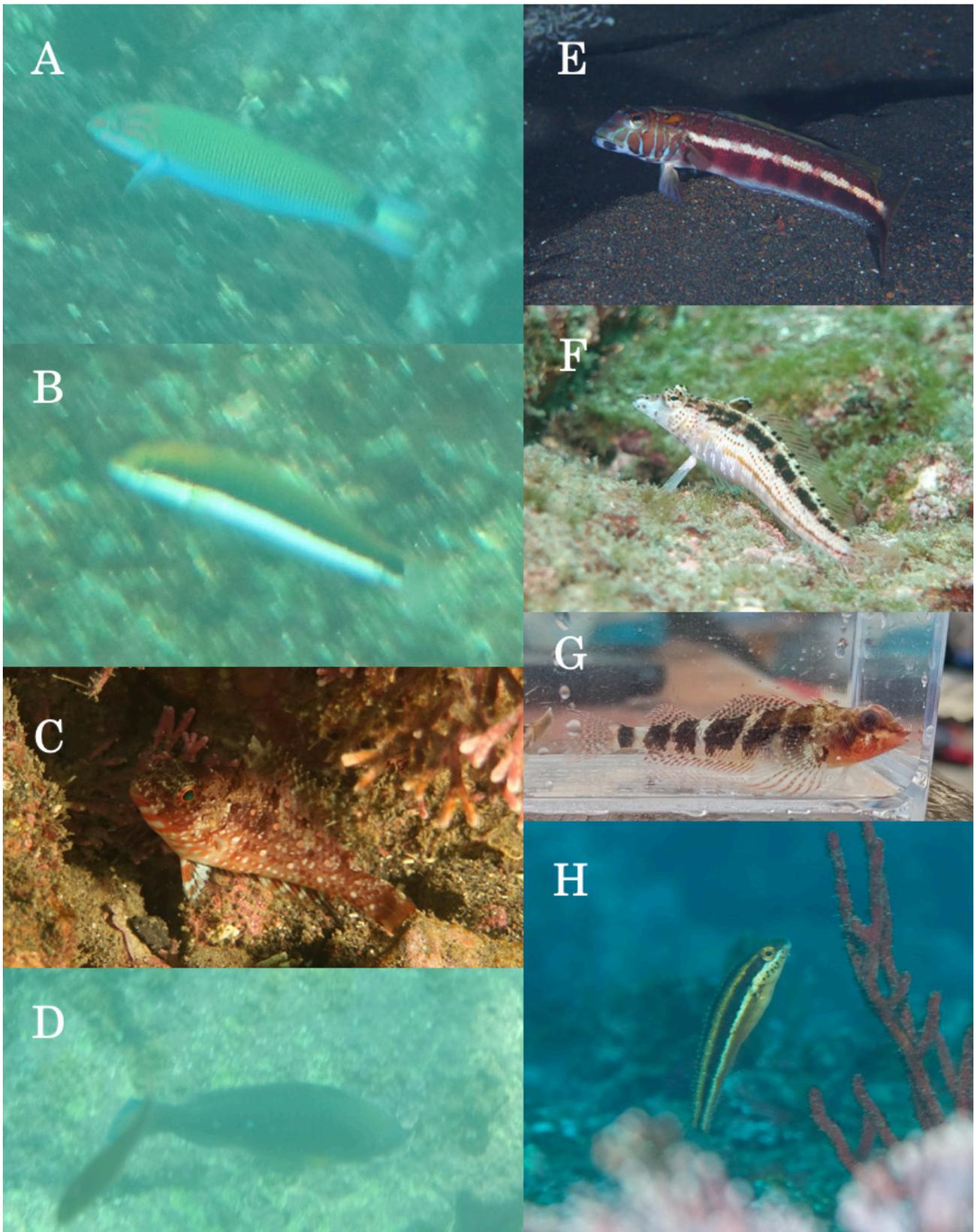


図 13. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: オトメベラ *Thalassoma lunare*, KPM-NR 236335A; B: ヤマブキベラ *Thalassoma lutescens*, KPM-NR 236385A; C: フダイ *Calotomus japonicus*, KPM-NR 236338A; D: アオブダイ *Scarus ovifrons*, KPM-NR 236262A; E: トラギス *Parapercis pulchella*, KPM-NR 236315A; F: コウライトラギス *Parapercis snyderi*, KPM-NR 236252A; G: ヘビギンポ *Enneapterygius etheostoma*, KPM-NR 236369A; H: ニジギンポ *Petroscirtes breviceps*, KPM-NR 236305A.

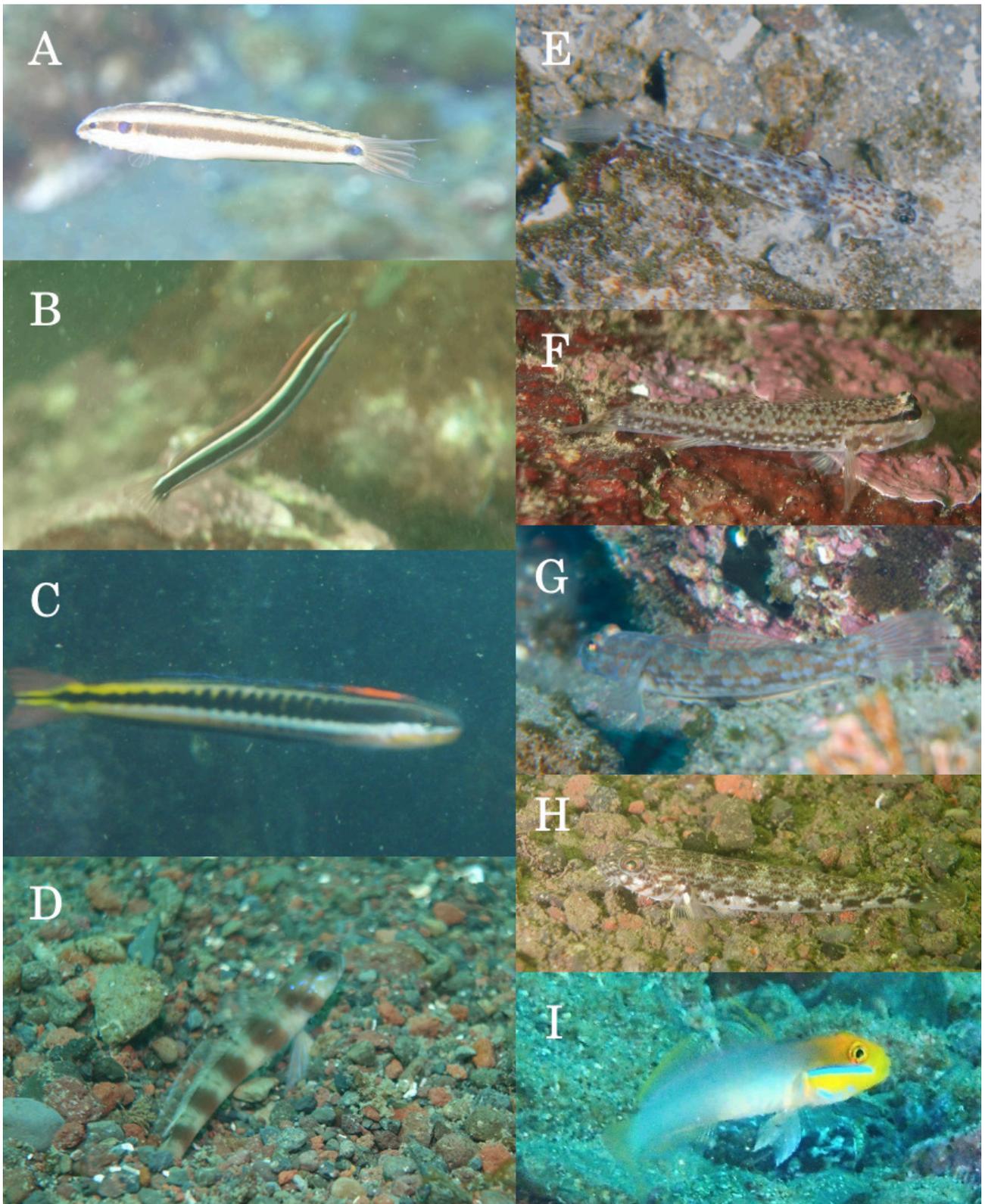


図 14. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類 . A : フタホシニジギンポ *Petroscirtes springeri*, KPM-NR 236388A ; B : ミナミギンポ *Plagiotremus rhinorhynchos*, KPM-NR 236363A ; C : テンクロスジギンポ *Plagiotremus tapeinosoma*, KPM-NR 236249A ; D : ダテハゼ *Amblyeleotris japonica*, KPM-NR 236257A ; E : セホシサンカクハゼ *Fusigobius duospilus*, KPM-NR 236296A ; F : クツワハゼ *Istigobius campbelli*, KPM-NR 236358A ; G : ホシノハゼ *Istigobius hoshinonis*, KPM-NR 236297A ; H : サビハゼ *Sagamia geneionema*, KPM-NR 236370A ; I : アカハチハゼ *Valenciennea strigata*, KPM-NR 236376A.

(図 15A)

KPM-NR 236361, 水深 10 m, 2021 年 8 月 23 日, 深谷撮影。

***Ptereleotris* sp.**
クロユリハゼ属の 1 種
(図 15B)

KPM-NR 236256, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影; KPM-NR 236312, 水深 10 m, 西井 諒氏撮影。

備考: 根府川において, 本種は水深 10–15 m ほどの転石帯あるいは粒子の粗い砂地に, 単独あるいは 2–5 匹ほどの群れを作ってホバリングしている姿がしばしば確認されている。

明仁ほか (2013) は体側後半下部に 1 縦帯をもつクロユリハゼ属のうち, 尾鰭の数軟条が伸長するものをハナハゼ *P. hanae*, 尾鰭上下縁の 2 軟条のみが伸長するものをリュウキュウハナハゼ *P. sp.*, 尾鰭縁辺が丸く伸長する軟条をもたないものをスミゾメハナハゼ *P. rubristigma* (Allen, Erdmann & Cahyani, 2012) としている。KPM-NR 236256 と KPM-NR 236312 の 2 資料は, 尾鰭軟条に顕著な伸長がみられないことからハナハゼの可能性が除外されるものの, 尾鰭上下縁の 2 軟条の伸長については画像の不鮮明さゆえ判断が難しい。従って, 上記 2 資料については種レベルでの同定を留保するが, リュウキュウハナハゼあるいはスミゾメハナハゼのいずれかである可能性が高いと考えられる。

Family Siganidae アイゴ科
***Siganus fuscescens* (Houttuyn, 1782)**
アイゴ
(図 15C)

KPM-NR 236261, 水深 2 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

Family Acanthuridae ニザダイ科
***Acanthurus dussumieri* Valenciennes, 1835**
ニセカンランハギ
(図 15D)

KPM-NR 236319, 水深 3 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

本調査において, 本種は KPM-NR 236319 が撮影された一度のみ確認された。

***Acanthurus olivaceus* Bloch & Schneider, 1801**
モンツキハギ
(図 15E)

KPM-NR 236336, 水深 8 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤

想也氏撮影。

備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236336 が撮影された一度のみ確認された。

***Ctenochaetus binotatus* Randall, 1955**
コクテンサザナミハギ
(図 15F)

KPM-NR 236329, 水深 12 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236329 が撮影された一度のみ確認された。

***Prionurus scalprum* Valenciennes, 1835**
ニザダイ
(図 15G)

KPM-NR 236330, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

***Zebrasoma flavescens* (Bennett, 1828)**
キイロハギ
(図 15H)

KPM-NR 236375, 水深不明, 日付不明, 高橋監二氏撮影。

備考: 本種は相模湾において, 三浦半島荒崎海岸 (中村, 1970) および伊豆半島下田 (林ほか, 1992) から報告されている。

Family Sphyraenidae カマス科
***Sphyraena pinguis* Günther, 1874**
アカカマス
(図 16A)

KPM-NR 236317, 水深 2 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影; KPM-NR 236333, 水深 3 m, 2021 年 11 月 27 日, 伊藤想也氏撮影。

Order Pleuronectiformes カレイ目
Family Bothidae ダルマガレイ科
***Asterorhombus intermedius* (Bleeker, 1865)**
セイテンビラメ
(図 16B)

KPM-NR 236278, 水深 10 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。
備考: 本調査において, 本種は KPM-NR 236278 が撮影された一度のみ確認された。

当該個体は体側に多くの顕著な黒斑をもつこと, 浅海域の砂泥底で発見されたこと, および分布から, 中坊・土居内 (2013) に従って本種に同定された。

本種は相模湾を分布北限とし (中坊・土居内, 2013), 相模湾においては, 伊豆半島東岸 (瀬能ほか, 1994 など),

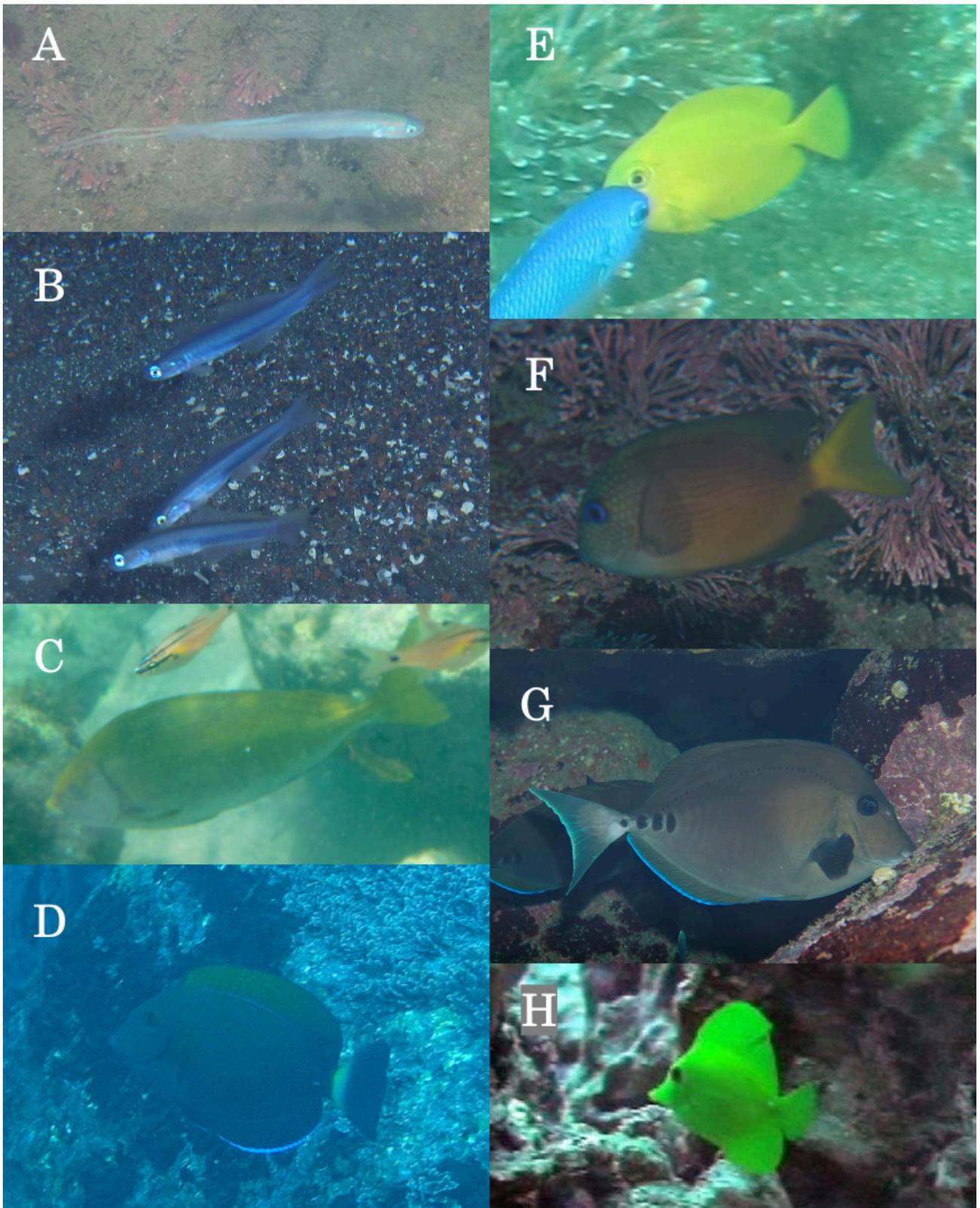


図 15. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: ハナハゼ *Ptereleotris hanae*, KPM-NR 236361A; B: クロユリハゼ属の 1 種 *Ptereleotris* sp., KPM-NR 236312A; C: アイゴ *Siganus fuscescens*, KPM-NR 236261A; D: ニセカンランハギ *Acanthurus dussumieri*, KPM-NR 236319A; E: モンツキハギ *Acanthurus olivaceus*, KPM-NR 236336A; F: コクテンサザナミハギ *Ctenochaetus binotatus*, KPM-NR 236329A; G: ニザダイ *Prionurus scalprum*, KPM-NR 236330A; H: キイロハギ *Zebrasoma flavescens*, KPM-NR 236375A.

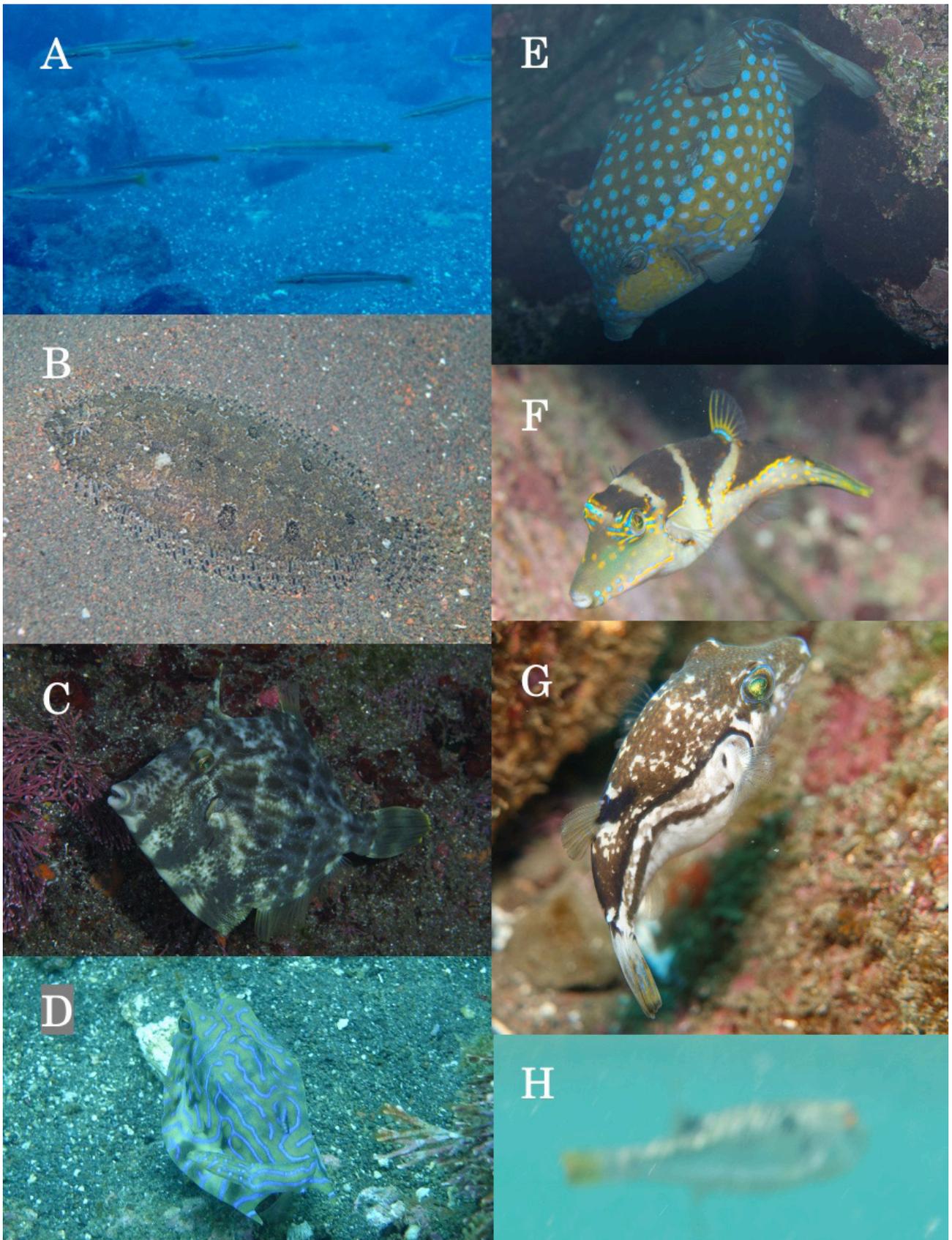


図 16. 本調査期間中に根府川沿岸で確認された魚類. A: アカカマス *Sphyaena pinguis*, KPM-NR 236317A; B: セイテンビラメ *Asterorhombus intermedius*, KPM-NR 236278A; C: カワハギ *Stephanolepis cirrhifer*, KPM-NR 236311A; D: シマウミスズメ *Lactoria fornasini*, KPM-NR 236254A; E: ハコフグ *Ostracion immaculatum*, KPM-NR 236320A; F: ハナキンチャクフグ *Canthigaster axiologus*, KPM-NR 236321A; G: キタマクラ *Canthigaster rivulata*, KPM-NR 236386A; H: クサフグ *Takifugu alboplumbeus*, KPM-NR 236274A.

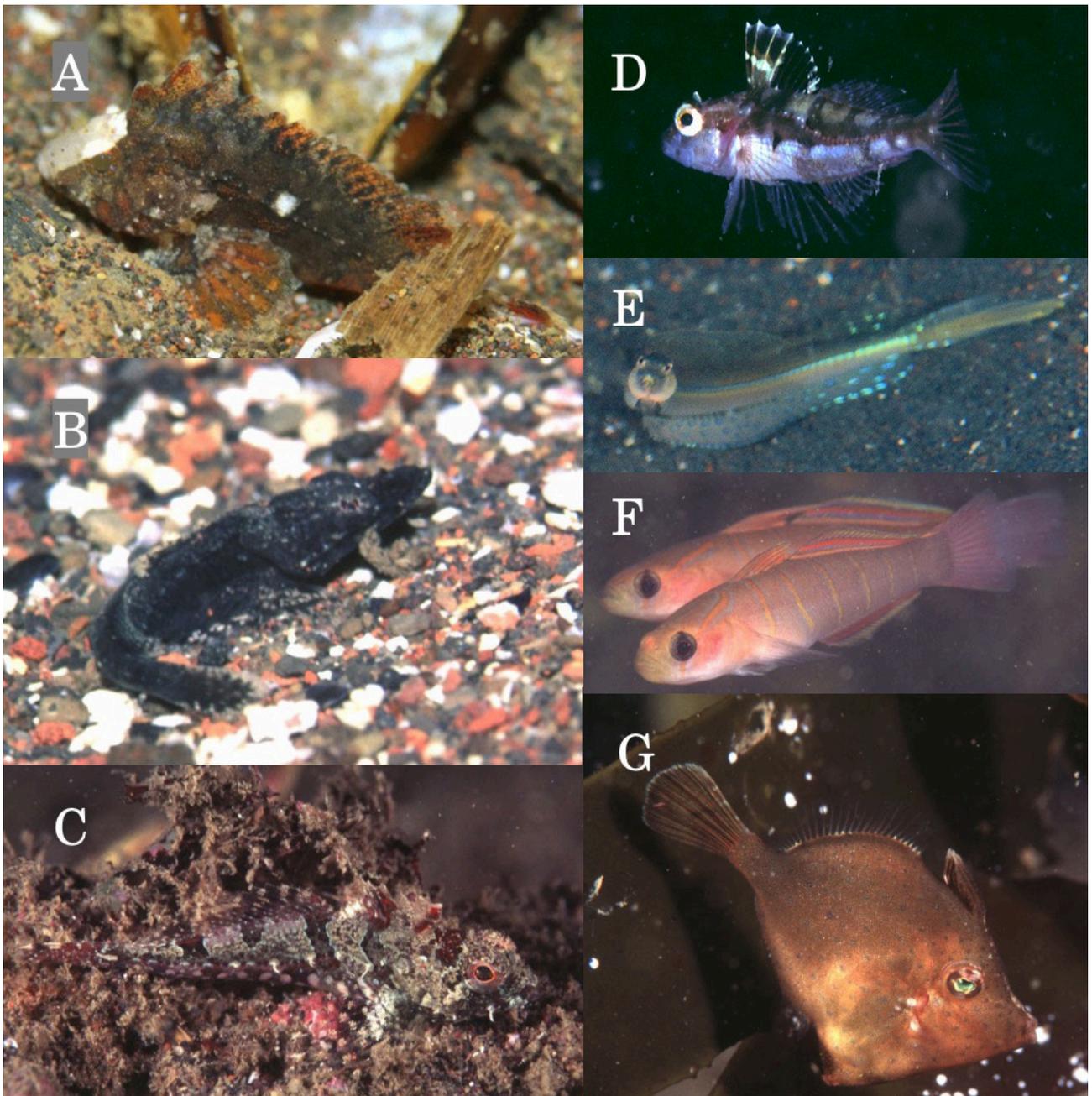


図 17. 1999 年 8 月に根府川沿岸で確認された魚類 . A : コチ科の 1 種 *Platycephalidae*, indet. gen. & sp., KPM-NR 31688B ; B : ハオコゼ *Paracentropogon rubripinnis*, KPM-NR 31689A ; C : キヌカジカ *Furcina osimae*, KPM-NR 33203A ; D : ヤナギアナハゼ *Pseudoblennius argenteus*, KPM-NR 13145A ; E : クロエリギンポ *Trichonotus filamentosus*, KPM-NR 210078A ; F : チャガラ *Pterogobius zonoleucus*, KPM-NR 33212A ; G : アミメハギ *Rudarius ercodes*, KPM-NR 33193A.

および千葉県館山（萩原・木村，2005）から本種の記録がある。しかしこれまで神奈川県から本種が報告された例はなく，KPM-NR 236278 はその初めての記録であると同時に，本種の分布北限をわずかに更新するものであると考えられる。

Order Tetraodontiformes フグ目
Family Monacanthidae カワハギ科
***Rudarius ercodes* Jordan & Fowler, 1902**
アミメハギ
 (図 17G)

KPM-NR 33192, 33193, 水深 10–11 m, 1999 年 8 月 28 日,
 瀬能 宏氏撮影。

***Stephanolepis cirrhifer* (Temminck & Schlegel, 1850)**
カワハギ
 (図 16C)

KPM-NR 236311, 水深 8 m, 2021 年 12 月 18 日, 西井

諒氏撮影。

Family Ostraciidae ハコフグ科
***Lactoria fornasini* (Bianconi, 1846)**
シマウミスズメ
(図 16D)

KPM-NR 236254, 水深 13 m, 2022 年 7 月 2 日, 内田大賀氏撮影。

***Ostracion immaculatum* Temminck & Schlegel, 1850**
ハコフグ
(図 16E)

KPM-NR 33214, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 236320, 水深 5 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影; KPM-NR 236379, 水深 10 m, 2022 年 10 月 11 日, 高橋監二氏撮影。

備考: 根府川では幼魚・成魚ともに確認されているが, 幼魚は少ない。

Family Tetraodontidae フグ科
***Canthigaster axiologus* Whitley, 1931**
ハナキンチャクフグ
(図 16F)

KPM-NR 236321, 水深 5 m, 2021 年 12 月 18 日, 深谷撮影。

***Canthigaster rivulata* (Temminck & Schlegel, 1850)**
キタマクラ
(図 16G)

KPM-NR 33213, 33215, 水深 8–10 m, 1999 年 8 月 28 日, 瀬能 宏氏撮影; KPM-NR 33584, 水深 8 m, 1999 年 8 月 28 日, 御所真一郎氏撮影; KPM-NR 236386, 水深不明, 2022 年 3 月 16 日, 浪川大誠氏撮影。

備考: 根府川では幼魚・成魚ともに確認されている。

***Takifugu alboplumbeus* (Richardson, 1845)**
クサフグ
(図 16H)

KPM-NR 236274, 水深 0.5 m, 2022 年 7 月 2 日, 深谷撮影。

謝 辞

根府川ダイビングサービスの高橋監二氏には本プロジェクトにご理解いただくとともに, 多数の資料や情報を提供していただいた。東京大学総合研究博物館の藍澤正宏氏には論文を校閲していただいた。神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏氏には画像資料の登録や既存資料の情報開示にご協力いただくとともに, 一部の種の同定や調査全般に関してご助言をいただいた。東京大学海洋調査探検部顧問の山川 卓氏, 同部前顧問の茅根 創氏,

全日本潜水連盟 (JUDF) インストラクターの小久保英一郎氏には本プロジェクトにご理解いただくとともに, 調査活動における安全管理にご協力いただいた。同部部員の皆様には本プロジェクトの機会を与えていただくとともに, 毎回の調査に多大なるご協力をいただいた。東京大学後期教養学部の長谷美波氏には英文要旨を校閲していただいた。神奈川自然誌資料の査読者および編集委員には原稿の改訂に際し有益なご助言をいただいた。以上の方々に厚く御礼を申し上げる。本研究は東大駒場友の会からの寄付支援を受けた。

引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏, 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 1347–1608, 2109–2211. 東海大学出版会, 秦野.
- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 房総半島館山湾波左間周辺海域の魚類相. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 351–387.
- 波戸岡清峰, 2013. アナゴ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 279–287, 1802–1806. 東海大学出版会, 秦野.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島およびオオツブ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会編, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書, pp. 41–63. 相模湾海洋生物研究会, 横須賀.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類 (追補). 神奈川自然誌資料, (13): 17–27.
- 甲斐嘉晃, 2018. メバル複合種群. 中坊徹次編, 小学館の図鑑 Z 日本魚類館: 精緻な写真と詳しい解説, pp. 202–203. 小学館, 東京.
- Kai, Y., & T. Nakabo, 2008. Taxonomic review of the *Sebastes inermis* species complex (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). *Ichthyological Research*, 55(3): 238–259.
- 国土地理院, online. 地理院地図 (電子国土 Web). <https://maps.gsi.go.jp/> (accessed on 2022-October-30).
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29–38.
- 工藤孝浩・山田和彦・三井翔太・門田高太・瀬能 宏, 2022. 三浦半島南西岸魚類目録. 神奈川自然誌資料, (43): 97–142.
- 馬淵浩司, 2003. ササノハベラ属 2 種の南日本沿岸における地理的分布パターン. 魚類学雑誌, 50(2): 103–113.
- 本村浩之, 2022. 日本産魚類全種目録: これまでに登録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名, Online ver. 17. <https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html> (accessed on 2022-November-20).
- 中坊徹次編, 2013a. 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版. i-1+1-864, i-xxxii+865–1748, i-xvi+1749–2428+(ii) pp. 東海大学出版会, 秦野.
- 中坊徹次, 2013b. 東アジアにおける魚類の生物地理学. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 2288–2338. 東海大学出版会, 秦野.
- 中坊徹次, 2015. 南日本太平洋沿岸における魚類相の生物地理学的特徴. 池田博美・中坊徹次, 南日本太平洋沿岸の魚類, pp. 547–568. 東海大学出版部, 平塚.
- 中坊徹次・土居内 龍, 2013. ダルマガレイ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 1662–1674, 2227–2229. 東海大学出版会, 秦野.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃, 2013. コチ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 734–740, 1953–1955. 東海大学

- 出版会, 秦野.
- 中村一恵, 1970. 相模湾沿岸のタイド・プール魚類. 神奈川県立博物館調査研究報告, 自然科学, (1): 1-33.
- 西村三郎, 1981. 地球の海と生命: 海洋生物地理学序説. 284 pp. 海鳴社, 東京.
- 瀬能 宏, 1990. I.O.P. のハゼ, 1. *I. O. P. Diving News*, 1(6): 2-3.
- 瀬能 宏, 2013. ヨウジウオ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 615-635, 1909-1913. 東海大学出版会, 秦野.
- 瀬能 宏・尼岡邦夫・小野篤司, 1994. 慶良間諸島で発見されたタイコウボウダルマ. *I. O. P. Diving News*, 5(11): 4-5.
- Senou H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami Sea with zoogeographical comments of shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio Current. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 島田和彦, 2013. ベラ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 1088-1136, 2045-2056. 東海大学出版会, 秦野.
- 下光利明・遠藤周太・三井翔太・横地和正・瀬能 宏, 2019. 千葉県館山市坂田の東京海洋大学館山ステーション地先に出現する魚類. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (48): 121-137.
- 竹内直子・瀬能 宏・青木優和, 2012. 伊豆半島大浦湾の魚類相および相模湾沿岸域におけるその生物地理学的特性. 日本生物地理学会会報, 67: 41-50.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2012. 三崎魚市場に水揚げされた魚類 XVII. 神奈川自然誌資料, (33): 113-116.
- 山田梅芳・柳下直己, 2013. エソ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第三版, pp. 412-420, 1846-1847. 東海大学出版会, 秦野.
- 山川宇宙・三井翔太・丸山智朗・加藤柊也・酒井 卓・瀬能 宏, 2018. 相模湾とその周辺地域の河川および沿岸域で記録された注目すべき魚類 18 種: 近年における暖水性魚類の北上傾向について. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (47): 35-57.

深谷真央: 東京大学農学部

(受領 2022 年 10 月 31 日; 受理 2023 年 2 月 22 日)